



取扱説明書

Digital Media ヘッドユニット

iDA-X305S



iPhone 3G
8GB 16GB



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB



安全にお使いいただくために

各部の名称

基本操作

ラジオ

iPod/iPhone 操作

USB メモリ / ポータブルオーディオ
プレーヤー / チェンジャー操作

サウンド

SETUP (セットアップ)

IMPRINT (オプション)

取り付けと接続

その他

安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



! 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）**本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない**

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

USB 端子についてのご注意

- 本機 USB 端子は、iPod/iPhone、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤーのみ接続することができます。その他の USB 対応製品は動作保証対象外となります。
- USB 端子をご使用になるときは、必ず本機付属の USB ケーブルのみご使用ください。USB ハブには対応していません。
- 接続する USB メモリによっては、動作しない場合があります。また、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- 本機で再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA/AAC です。
- アーティスト名、曲名などの表示を行うことができませんが、文字を正確に表示できない場合があります。

! 注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。



安全にお使いいただくために

USB メモリについてのご注意

- 本機は USB Mass Storage Class 対応の USB メモリを操作できます。再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA/AAC です。
- USB メモリの動作保証はしておりません。ご使用の際には、USB メモリの使用条件内でのご利用をお願いいたします。USB メモリの取扱説明書もよくお読みください。
- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。高温になった車内や炎天下など気温の高い場所 / 直射日光のあたる場所 / 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- USB メモリは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- USB メモリは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- USB メモリは、USB メモリ規格に準拠したメモリをご使用ください。ただし、規格に準拠した USB メモリを使用しても、USB メモリの種類や状態により正常に動作できない場合があります。
- USB メモリの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは再生できません。
- USB メモリは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。特にオーディオデータ以外のファイルが USB メモリにある場合、再生するまでの時間やサーチ動作が著しく遅くなる場合があります。
- 本機で再生可能なファイルの拡張子は「mp3」「wma」「m4a」です。
- オーディオデータ以外のファイルに上記の拡張子をつけないでください。本機がオーディオデータと誤認識してしまい、大きな音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
- 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。

MP3/WMA/AAC のご注意 (USB メモリ)

- 本機で再生できる MP3/WMA/AAC は、本機対応のフォーマットで記録されたデータのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」(64 ページ) を参照してください。
- DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムの WMA ファイル、iTunes Music Store で購入した DRM フリーでない AAC ファイル、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは、本機では再生できません。
- 作成したライティングソフト / 変換ソフトによっては再生できない場合があります。
- AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、Ver. 9.0.1 までの iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

ポータブルオーディオプレーヤーについてのご注意

- 本機は USB インターフェースつきのポータブルオーディオプレーヤーを操作できます。再生できる音楽ファイル形式は、MP3/WMA です。
- ポータブルオーディオプレーヤーの動作保証はしておりません。ご使用の際には、ポータブルオーディオプレーヤーの使用条件内でのご利用をお願いいたします。また、ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書もよくお読みください。

- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
高温になった車内や炎天下など気温の高い場所 / 直射日光のあたる場所 / 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ポータブルオーディオプレーヤーは運転に支障をきたさない場所に固定してください。
- ポータブルオーディオプレーヤーは高温・低温時には正常に動作しない場合があります。
- ポータブルオーディオプレーヤーの種類や記録状態、エンコードソフトの設定によっては再生や表示ができない場合があります。
- MSC/MTP 設定が切りかえられるポータブルオーディオプレーヤーでは、MTP に設定してください。
- USB Mass Storage でデータが記録されているポータブルオーディオプレーヤーは、本機で再生できない場合があります。
- ポータブルオーディオプレーヤー本体の設定により、Mass Storage として動作する場合があります。設定についてはプレーヤーの説明書を参照してください。
- 大切なデータはパソコン等を用いて、バックアップを取っておくことをお勧めします。

MP3/WMA のご注意(ポータブルオーディオプレーヤー)

- 本機では Windows Media Player Ver.10、11 で同期してプレーヤーに転送した MP3/WMA ファイルを再生することができます。再生可能なファイルの拡張子は「mp3」「wma」です。
- Windows Media Player で同期せずに他の方法でデータを転送した場合は、正常に再生できない場合があります。
- 本機で再生できる MP3/WMA は、本機対応のフォーマットで記録されたデータのみです。詳しくは、「MP3/WMA/AAC について」(64 ページ) を参照してください。
- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは、本機では再生できません。
- 本機は WMDRM10 に対応しています。

iPod/iPhone についてのご注意

- iPod/iPhone を車内に放置しないでください。高温多湿の環境に弱いため、故障の原因になります。
- iPod/iPhone の機能については、iPod/iPhone ユーザーズガイドを参照してください。
- 本機で対応している iPod は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
iPod touch: Ver.2.0.2
iPod classic: Ver.1.1.2
iPod with video: Ver.1.3
iPod nano (3rd generation): Ver.1.1.3
iPod nano (2nd generation): Ver.1.1.3
iPod nano (1st generation): Ver.1.3.1
- 本機で対応している iPhone は次の通りです。これ以前のバージョンの動作保証および性能保証は致しかねます。
iPhone 3G: Ver.2.0.2
- 最新の対応 iPod/iPhone については、アルパインホームページをご覧ください。インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- ご使用の iPod 製品名を確認するには、アップルのホームページをご覧ください。

目次

安全にお使いいただくために

警告／注意.....	2
目次	5

各部の名称

ボタン名称.....	7
------------	---



基本操作

ダブルアクションエンコーダーの操作に ついて	8
リセットする	8
電源の ON/OFF	9
電源を入れる	9
電源を切る	9
iPod/iPhone を接続する	9
iPod/iPhone を接続する	9
iPod/iPhone を外す	9
USB メモリを接続する	10
USB メモリを外す	10
ポータブルオーディオプレーヤーを接続する	10
ポータブルオーディオプレーヤーを外す	10
音楽モードを切りかえる	10
カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)	11
カレンダー／時計を表示する	12
サブウーハー／バス／トレブル／バランス／フェ ダー／ラウドネス／ディフィート／音量を調整 する	13
サブウーハー調整 (Subwoofer)	13
バス (低音) 調整 (Bass Level)	13
トレブル (高音) 調整 (Treble Level)	13
バランス調整 (Balance)	13
フェダー調整 (Fader)	13
ラウドネス設定 (Loudness)	13
ディフィート設定 (Defeat)	13
音量調整 (Volume)	13

ラジオ

画面の見かた	14
バンドを切りかえる	14
聴きたい放送局を選ぶ	14
自動で選ぶ	14
手動で選ぶ (マニュアルモード Manual)	14
記憶させた放送局を選ぶ	14

放送局を記憶させる	15
手動で記憶させる	15
自動で記憶させる (Auto Memory)	15
道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)	15

iPod/iPhone 操作

画面の見かた	16
聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ	16
早送り／早戻しをする	16
一時停止する	16
曲順を変えて聴く Shuffle (シャッフル)	17
解除するには	17
曲順を変えて聴く Shuffle All (シャッフル All)	17
解除するには	17
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	18
解除するには	18
聴きたい曲／タイトルを探す	19
ページスキップ／パーセントスキップ／ アルファベツスキップ機能	20
サーチポジションメモリー	21
ダイレクト UP/DOWN 機能	21

USB メモリ／ポータブルオーディオプレー ヤー／チェンジャー操作

画面の見かた	22
USB メモリ／ポータブルオーディオプレーヤー	22
チェンジャー	22
聴きたい曲 (ファイル) を選ぶ	23
早送り／早戻しをする (USB メモリ／チェンジャー)	23
一時停止する	23
聴きたいディスクを選ぶ (チェンジャー)	23
聴きたいフォルダを選ぶ (MP3/WMA/AAC)	23
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	24
解除するには	24
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	25
解除するには	25
トラック No. から曲を探す (CD チェンジャー)	25
聴きたいフォルダまたはファイルを探す (MP3/WMA/AAC)	26

サウンド

低音の強調 (バスセンター周波数)	28
バスセンター周波数の設定	28
バス帯域幅の設定	28
高音の強調 (トレブルセンター周波数)	29
HPF の設定	30
サブウーハーを接続する	31

SETUP (セットアップ)

セットアップ (SETUP) する	32
設定項目一覧	33
Bluetooth	
BLUETOOTH 接続設定 (Bluetooth IN)	33
General	
時刻表示の設定 (Clock Mode)	34
カレンダー表示パターンの設定 (Calendar Type)	34
MP3 再生データ設定 (Play Mode)	34
操作音設定 (Beep)	34
外部割り込みモードの設定 (Int Mute)	34
外部割り込み時のディフェルト設定 (Int Audio)	34
チェンジャーの名称設定 (CHG Name)	35
外部入力の設定 (AUX IN)	35
外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時) (AUX IN)	35
外部入力の設定 (AUX +)	35
外部入力音声レベルの調整 (AUX + IN GAIN)	35
外部アンプの接続 (Power IC)	36
言語の設定 (Language)	36
デモンストレーション機能 (Demo)	36
Display	
照光ボタンの色設定 (Illumination)	36
ディスプレイの明るさ調整 (Dimmer)	37
ディスプレイの明るさレベルを調整する (Dimmer Level)	37
テキストスクロール設定 (Text Scroll)	37
壁紙の設定 (BGV Select)	37
壁紙のカラー設定 (BGV Color)	37
壁紙のダウンロード (BGV Download)	37
iPod/iPhone	
iPod/iPhone サーチモードの設定	38
AUDIO	
オーディオ調整値を記憶する	38
オーディオ調整値を呼び出す	39
サブウーハーの設定	39
MX モードの ON/OFF (MX)	39
サブウーハー接続 (Subwoofer)	39
MX レベルの設定 (MX Level Adjustment)	39

IMPRINT (オプション)

IMPRINT 操作	40
Multi EQ の ON/OFF	40
サウンド調整 (マニュアルモード)	40
サウンド調整項目	41
MX モードの ON/OFF	42
MX レベルの設定	42
イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ (Factory's EQ)	42
イコライザーモードの設定 (EQ Mode)	42
パラメトリック EQ の調整	43
グラフィック EQ の調整	44
タイムコレクションの設定	45
X-OVER (クロスオーバー) の調整	45
サブウーハー接続 (Subwoofer)	47
サブウーハーの設定 (Subwoofer System)	47
サブウーハー出力の位相設定 (Subwoofer Phase)	47
サブウーハー出力の設定 (Subwoofer Channel)	47
ツイーター設定 (Tweeter)	47
フィルタータイプの設定 (Filter Type)	47
タイムコレクション調整単位の設定 (Time Correction Parameter)	47
調整内容の記憶と呼び出し	48
タイムコレクション (時間補正) について	49
X-OVER について	51
周波数帯域と音質について	53

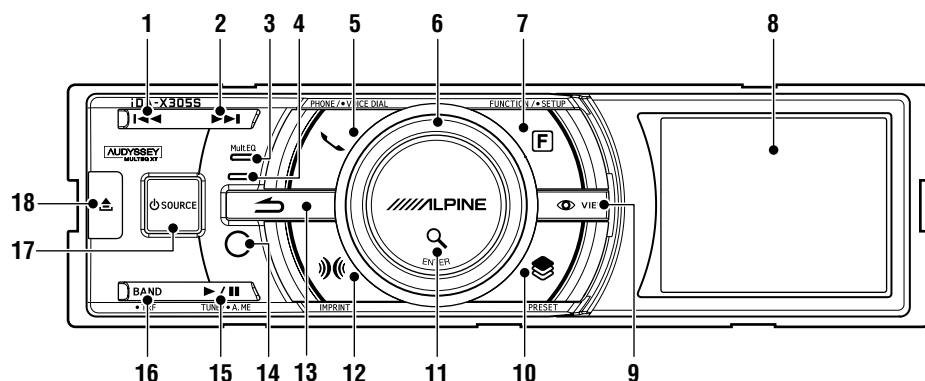
取り付けと接続

取り付けと接続	54
---------------	----

その他

故障かな?と思ったら	60
規格	62
保証について	62
お問い合わせ窓口	63
MP3/WMA/AAC について	64
索引	65

ボタン名称



1 I◀◀ ボタン

ラジオ：周波数がダウンします。
iPod/iPhone、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャー
：再生している曲の頭に戻ります。
iPod/iPhone、USB メモリ、チェンジャー
：押し続けると早戻しします。

2 ▶▶I ボタン

ラジオ：周波数がアップします。
iPod/iPhone、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャー
：次の曲に進みます。
iPod/iPhone、USB メモリ、チェンジャー
：押し続けると早送りします。

3 MultEQ インジケーター

MultEQ ON 時に点灯します。(別売の IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) 接続時)

4 POWER インジケーター

電源 ON 時点灯します。

5 PHONE ボタン

BLUETOOTH INTERFACE (別売) 接続時に使用します。
VOICE DIAL 機能は、VOICE DIAL 対応 BLUETOOTH Box (別売) が必要です。

6 ダブルアクションエンコーダー

項目を選択します。
音量を調整します。

7 F FUNCTION/・SETUP ボタン

ファンクションモードを呼び出します。
2秒以上押すとセットアップモードを呼び出します。

8 ディスプレイ

9 VIEW ボタン

表示を切りかえます。

10 PRESET ボタン

プリセットモードを呼び出します。
2秒以上押すと User Preset 画面を呼び出します。

11 Q (SEARCH) /ENTER ボタン

サーチモードを呼び出します。
項目を確定します。

12 IMPRINT ボタン

オーディオ調整モードを呼び出します。
2秒以上押すとサウンドセットアップモードを呼び出します。

13 ◀▶ ボタン

1つ前の項目/画面に戻ります。
メニュー画面などで2秒以上押すと通常画面に戻ります。

14 リモコンセンサー部

別売りモコンの信号を受信します。

15 ▶/||/TUNE/・A.M.E ボタン

iPod/iPhone、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャー
：再生/一時停止を切りかえます。
ラジオ：チューニングモードを選びます。
2秒以上押すと、放送局が自動的に記憶されます。

16 BAND/・TRF ボタン

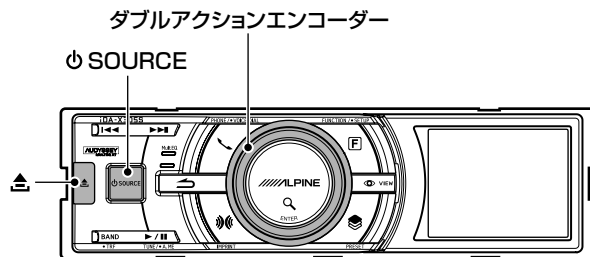
ラジオ：ラジオバンドを切りかえます。
2秒以上押すと、交通情報を受信します。

17 I (POWER) SOURCE ボタン

電源を ON/OFF (2秒以上押す) します。
ソースを切りかえます。

18 音量ボタン

フロントパネルを取り外すときに押します。

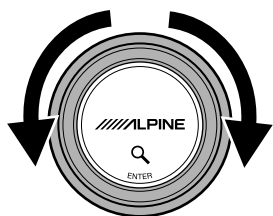


ダブルアクションエンコーダーの操作について

ダブルアクションエンコーダーには、2通りの操作方法があります。

① 通常操作：

ダブルアクションエンコーダーを左右に回す

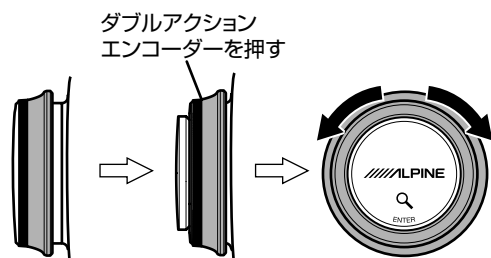


音量の調整、項目の選択を行います。

② 便利な操作：

ダブルアクションエンコーダーを押し込みながら、左右に回す

ダブルアクションエンコーダーから手を離れた時点で、画面が切りかわります。



状況に応じて、項目の切り替え、画面の切り替えなどを便利に行うことができます。押し込みながら回したままにしておくことにより、連続して項目 / 画面を切り替えることもできます。

リセットする

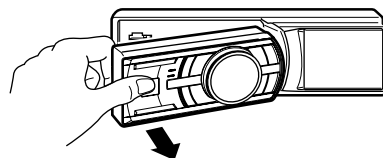
初めて使うときや、チェンジャーなどを取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

■ Memo

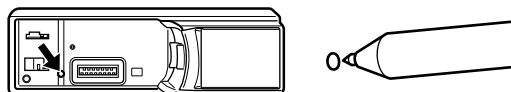
- リセットは電源が切れている状態で行なってください。

1 を押す

パネルの左端をつかんで静かに手前に取り外す。

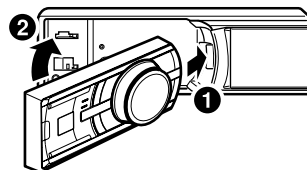


2 「リセットスイッチ」をペン先などで押す



3 フロントパネルを取り付ける

フロントパネルを右端 ① へ合わせ、左端 ② をゆっくりカチッと音がするまで押し込みます。



■ Memo

- リセットすると、オーディオ調整（13 ページ）など記憶した内容が消去されます。再度、登録し直してください。
- セットアップ（SETUP）の設定（カレンダー / 時計の設定、サブウーハーシステムの設定を除く）は消去されません。
- フロントパネルを外す時に必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。
- 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっていても故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前に
コネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。

電源の ON/OFF

電源を入れる

イグニッションキー（エンジンキー）を ACC または ON にしてから操作してください。



を押す

電源が入ります。

■ Memo

- ・「」[VIEW]「ダブルアクションエンコーダー」以外のどのボタンを押しても電源が入ります。また、iPod/iPhone や USB メモリを接続しても自動的に電源が入ります。
- ・製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきました。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

電源を切る



を 2 秒以上押す

電源が切れます。

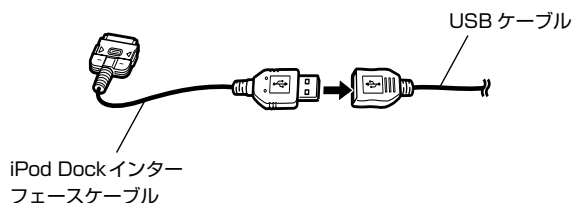
■ Memo

- ・イグニッションキーを OFF にすると本機の電源も切れます。
- ・本機と接続されている iPod/iPhone の電源は連動していますが、本機の電源が OFF になっても iPod/iPhone の電源が OFF になるまで、数分かかる場合があります。

iPod/iPhone を接続する

iPod/iPhone を接続する

1 USB ケーブルに iPod Dock インターフェースケーブルを接続する



2 iPod Dock インターフェースケーブルと iPod/iPhone を接続する



■ Memo

- ・運転中は iPod/iPhone を接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- ・運転中は iPod/iPhone のイヤホンを使用しないでください。事故・ケガの原因になります。
- ・再生中の iPod/iPhone を本機に接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- ・別売の INTERFACE ADAPTER FOR iPod (KCA-420i) を使用しての接続は推奨しておりません。
- ・本機は iPod FULL SPEED 接続に対応していません。そのため別売 BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) に FULL SPEED Connection Cable (KCE-433iV) を使用して iPod/iPhone を接続しても、iPod/iPhone を操作することはできません。
- ・iPod/iPhone を接続しても音が出ないときや、iPod/iPhone を認識できない場合は、一度 iPod/iPhone を外して再接続するか、iPod/iPhone のリセットを行ってください。
- ・本機に iPod/iPhone を接続する前に、iPod/iPhone の EQ 機能を「オフ」に設定することをお勧めします。
- ・本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。

iPod/iPhone を外す

iPod Dock インターフェースケーブルから iPod/iPhone を外す

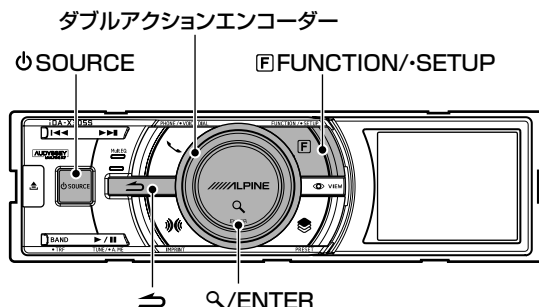


■ Memo

- ・運転中は iPod/iPhone を外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- ・iPod/iPhone モード以外のソースに切りかえてから iPod/iPhone を取り外してください。iPod モード中に取り外すとデータが破損する場合があります。
- ・iPod/iPhone のディスプレイに「接続を解除できます」の表示が出ていれば、いつでも取り外しできます。

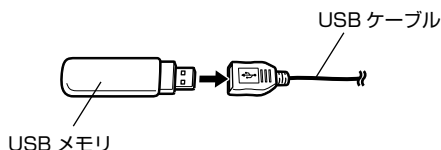


基本操作



USB メモリを接続する

USB ケーブルに USB メモリを接続する



■ Memo

- 運転中は USB メモリを接続しないでください。事故・ケガの原因になります。
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。
- USB メモリを接続しても音が出ないときや USB メモリを認識しない場合は、一度 USB メモリを外して再接続してください。

USB メモリを外す

USB ケーブルから USB メモリを外す

■ Memo

- 運転中は USB メモリを外さないでください。事故・ケガの原因になります。
- USB メモリを取り外す時には、USB メモリを真っ直ぐ引き抜いてください。
- USB メモリモード以外のソースに切りかえてから USB メモリを取り外してください。USB メモリモード中に取り外すとデータが破損する場合があります。

ポータブルオーディオプレーヤーを接続する

1 USB ケーブルに、ポータブルオーディオプレーヤー付属のケーブルを接続する

2 ポータブルオーディオプレーヤーと、プレーヤー付属のケーブルを接続する

ポータブルオーディオプレーヤーを外す

ポータブルオーディオプレーヤー付属のケーブルから、プレーヤーを外す

■ Memo

- 運転中はポータブルオーディオプレーヤーを接続 / 取り外しをしないでください。事故・ケガの原因になります。
- 本機付属の USB ケーブルを使用してください。付属品以外のケーブルを使用すると動作しない場合があります。
- ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書も参照してください。

音楽モードを切りかえる

SOURCE を繰り返し押す

音楽モードを選びます。

モード表示	モード名
FM-1/FM-2/AM	ラジオ
iPod	iPod/iPhone
USB Audio *	USB メモリ
	ポータブルオーディオプレーヤー
CD CHG	CD チェンジャー

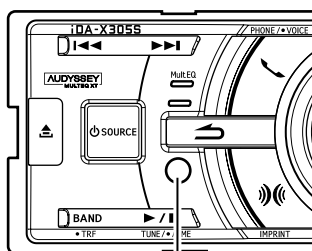
※ USB 端子に何も接続されていない場合は、モード名は < USB > と表示されます。

■ Memo

- iPod/CD CHG はそれぞれの機器を接続していないときは表示されません。
- iPod/iPhone、USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、CD チェンジャーは別売です。
- USB メモリを接続すると自動的に USB Audio モードになります。
- ラジオモードにすると、車両のアンテナが伸びます。(パワーアンテナ装着車のみ)
- MP3 対応チェンジャーでは、MP3 ファイルが再生できます。WMA/AAC ファイルは再生できません。MP3 対応チェンジャーの取扱説明書を参照願います。

お知らせ

- 本機はリモートコントロールに対応していますので、別売リモコン RUE-4192 などから操作することができます。
(モードにより、操作できる機能に制限があります。)

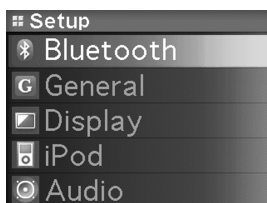


リモコンセンサー部

カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)

1 を 2 秒以上押す

Setup モードになります。



2 を廻す

< General > を選びます。

3 を押す

General セットアップ項目選択モードになります。

4 を廻す

< Clock Adjust > を選びます。

5 を押す

カレンダー／時計調整モードになります。
「年」を調整するときは手順 7
にお進みください。



6 を廻す

「年」「月」「日」「時」「分」の調整する項目を選びます。

7 を押す

「年」設定モードになり、「年」が点滅します。(「年」設定時)

8 を廻す

「年」を調整します。(「年」設定時)

9 を押す

「年」が決定されます。(「年」設定時)

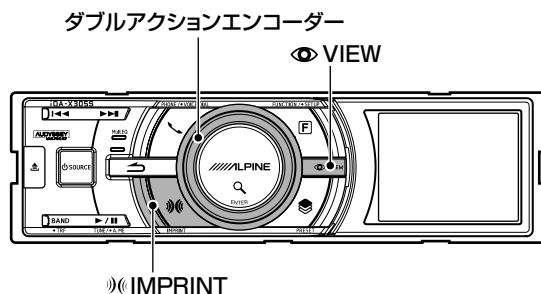
10 手順 6 ～ 9 を繰り返し行い、「月」、「日」、「時」、「分」を調整する

11 を 2 秒以上押す

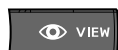
元のモードに戻ります。

■ Memo

- ・セットアップ中に「」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。



カレンダー／時計を表示する

 を押す

カレンダー／時計が表示されます。もう1度押すと通常モードに戻ります。

■表示例



iPod/iPhone の場合は

 を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。
カレンダー／時計表示を選びます。



■ Memo

- カレンダー／時計を表示している状態でラジオ、iPod/iPhoneなどを操作すると、行った操作を5秒間表示した後、時計表示に戻ります。
- 外部入力モード (Auxiliary, Auxiliary+) では、カレンダー／時計は表示されません。

15秒以内に操作

サブウーハー／バス／トレブル／ バランス／フェダー／ラウドネス／ ディフィート／音量を調整する

1 を繰り返し押す

調整したいモードを選びます。



2 を廻す

好みのレベルに調整します。

サブウーハー調整 (Subwoofer)

サブウーハー出力を調整します。

設定内容：00 ～ + 15 (出荷時の設定：00)

■ Memo

- 「サブウーハーを接続する」(31 ページ)で Subwoofer が「Off」に設定されている場合は、調整できません。

バス (低音) 調整 (Bass Level)

低音域を強めたり、弱めたりします。

設定内容：- 7 ～ + 7 (出荷時の設定：± 0)

トレブル (高音) 調整 (Treble Level)

高音域を強めたり、弱めたりします。

設定内容：- 7 ～ + 7 (出荷時の設定：± 0)

バランス調整 (Balance)

左右のスピーカー音量を調整します。

設定内容：Left 15 ～ Right 15 (出荷時の設定：センター)

フェダー調整 (Fader)

前後のスピーカー音量を調整します。

設定内容：Rear 15 ～ Front 15 (出荷時の設定：センター)

ラウドネス設定 (Loudness)

小さな音量で音楽を聴く際に不足しがちになる広域と低域の音量を補正します。

設定内容：ON/OFF (出荷時の設定：OFF)

ディフィート設定 (Defeat)

On に設定すると低音の設定 (Bass)、高音の設定 (Treble)、HPF の設定を初期値に戻します。

設定内容：ON/OFF (出荷時の設定：OFF)

音量調整 (Volume)

音量を調整できます。

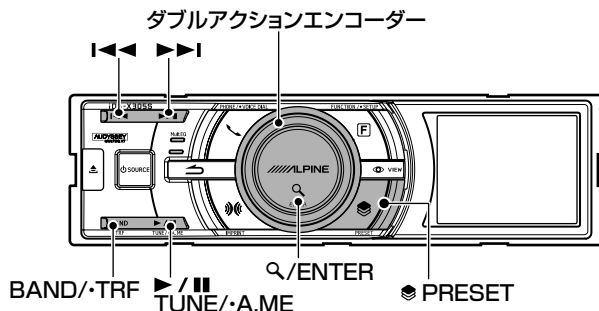
設定内容：- ∞ ～ 0dB (出荷時の設定：- 66dB)

■ Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障、または聴力障害の原因になります。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- モードを選択して 15 秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
- 接続する機器によっては、操作できない機能があります。

お知らせ

- 音量調整 (Volume) は、Volume モードを選択せずに「ダブルアクションエンコーダー」を廻すだけで調整することができます。
- バランス調整 / フェダー調整 / ラウドネス設定は、設定後に設定内容を記憶させることができます。記憶方法は 38 ページを参照してください。



画面の見かた

■ラジオ画面表示例



- | | |
|-------------|-------------|
| 1 モード表示 | 4 チューニングモード |
| 2 プリセット No. | 5 周波数 |
| 3 音量 | 6 カレンダー／時計 |

バンドを切りかえる

BAND を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM-1 → FM-2 → AM → FM-1...

聴きたい放送局を選ぶ

自動で選ぶ

現在受信できる放送局を自動で探索し、受信します。

放送局を自動で選ぶには、2つのモードがあります。

DX (ディスタンスモード) :

受信可能な放送局を自動で受信します。工場出荷時はディスタンスモードに設定されています。

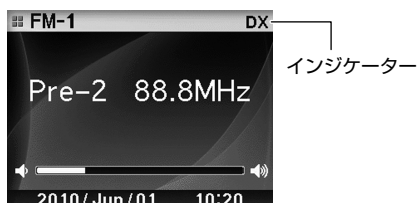
Local (ローカルモード) :

電波の強い放送局だけを自動で受信します。

1 **TUNE/A.ME** を繰り返し押す

< DX > または < Local > インジケーターを表示させます。

■表示例 (DX モード)



2 **PRESET** または **PRESET** を押す

■ Memo

・受信電波の弱い地域では、自動選局ができない場合があります。

手動で選ぶ (マニュアルモード Manual)

1 段階ずつ周波数が変わります。

1 **TUNE/A.ME** を繰り返し押す

< Manual > を表示させます。



2 **PRESET** を押す

周波数がダウンします。

押し続けると連続で周波数がダウンします。

PRESET を押す

周波数がアップします。

押し続けると連続で周波数がアップします。

■ Memo

・FM ラジオは 0.1MHz、AM ラジオは 9KHz ずつ変わります。

記憶させた放送局を選ぶ

あらかじめ記憶 (プリセット) されている放送局を選んで受信します。

1 **PRESET** を押す

Preset 画面が表示されます。

Preset FM-1	
Pre-1	76.0MHz
Pre-2	77.0MHz
Pre-3	83.0MHz
Pre-4	89.0MHz
Pre-5	90.0MHz

2 を廻す

放送局を選びます。

■ Memo

- Preset 画面で「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻すと、別のバンドの Preset 画面に切りかえることができます。
FM-1 ↔ FM-2 ↔ AM ↔ FM-1
また、「BAND」を押しても切りかえることができます。

3 を押す

選択した放送局が受信されます。

■ Memo

- 放送局を記憶させる操作については、「放送局を記憶させる」(15 ページ) を参照してください。

放送局を記憶させる

手動で記憶させる

1 記憶させたい放送局に周波数を合わせる

2 を押す

Preset 画面が表示されます。

Preset FM-1	
Pre-1	76.0MHz
Pre-2	77.0MHz
Pre-3	83.0MHz
Pre-4	89.0MHz
Pre-5	90.0MHz

3 を廻す

プリセット No. を選びます。

4 を 2 秒以上押す

押された No. に放送局が記憶されます。

■ Memo

- 放送局は 18 局まで記憶できます。
FM1…6 局、FM2…6 局、AM…6 局
- すでに記憶されている No. に記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶させる (Auto Memory)

1 を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → AM → FM1 . . .

2 を 2 秒以上押す

< Auto Memory > と表示し、自動選局を開始します。

電波の強い順に 6 つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶されます。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信されます。

■ Memo

- 受信電波の弱い地域では、Auto Memory での自動受信ができない場合があります。放送局を 1 つも受信 (記憶) できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)

1 を 2 秒以上押す

TRF モードになり、AM 放送の 1620KHz または、1629KHz の交通情報を受信します。



2 または を押す

1620KHz / 1629KHz を切りかえます。

■ Memo

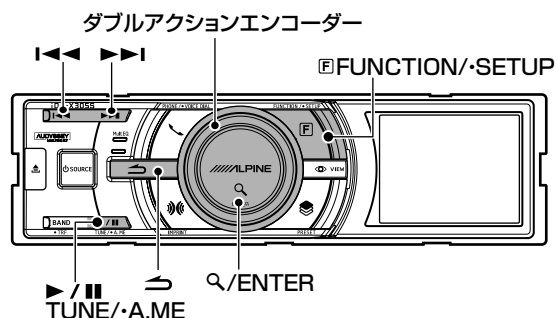
- 交通情報を行っている地域に合わせて周波数を切りかえてください。

3 を 2 秒以上押す

TRF モードを終了し、元のモードに戻ります。

■ Memo

- iPod やラジオなど、全てのモードで交通情報を受信できます。

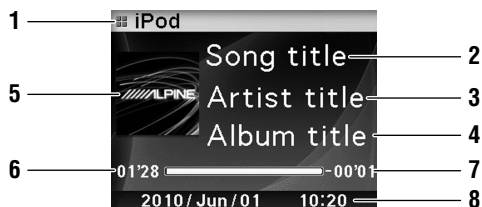


画面の見かた

iPod/iPhone を本機に接続すると、本機から操作することができます。その際 iPod/iPhone からの操作はできなくなります。

- iPhone や iPod touch のインターネット機能や電話機能等は本機から操作することはできませんが、iPhone や iPod touch 本体を操作して使用することができます。
- iPhone を本機に接続すると iPod として使用することができます。iPhone をハンズフリー電話として使用するには、別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) が必要です。
- 本機は iPod/iPhone のビデオ再生機能には対応していません。

■ iPod/iPhone 画面表示例



- 1 モード表示
- 2 曲名／エピソード名／オーディオブック名
- 3 アーティスト名／Podcast 名
- 4 アルバム名／Podcast リリース日
- 5 アートワーク
- 6 演奏経過時間
- 7 演奏残時間
- 8 カレンダー／時計

■ Memo

- 本機は英数、記号、カタカナ、ひらがな、漢字表示に対応しています。
- 本機で表示できない文字情報の場合、< No Support >と表示されます。
- 再生時間が 100 分になると、再生時間表示は「00' 00」となります。
- 日本語は最大 64 文字、英数記号は最大 128 文字まで表示することができます。
- 文字を正確に表示できない場合があります。

聴きたい曲（ファイル）を選ぶ

◀◀ を押す

再生中の曲（ファイル）の頭に戻ります。続けて押すと前の曲（ファイル）の頭出しをします。

▶▶ を押す

次の曲（ファイル）に進みます。

■ Memo

- Podcast のエピソード及びオーディオブックがチャプター対応の場合は、「◀◀」または「▶▶」で選択することができます。

早送り／早戻しをする

◀◀ を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

▶▶ を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

▶/|| を押す

< Pause >と表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

曲順を変えて聴く Shuffle (シャッフル)

曲 (ファイル) を順不同に再生させることができます。

■インジケーター表示

音楽モード	シャッフル再生モード	
iPod	Shuffle Album < 曲アイコン >	Shuffle Song < 曲アイコン >

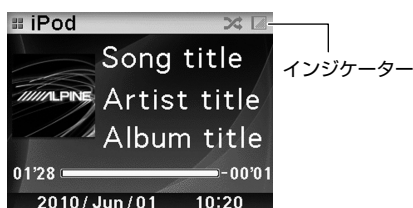
Shuffle Album (シャッフル・アルバム) :

iPod/iPhone 内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに再生します。

Shuffle Song (シャッフル・ソング) :

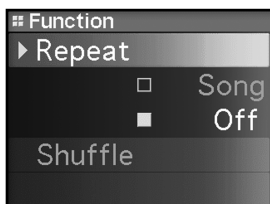
サーチモードで曲を選択した場合に、選択したモード内の曲を全曲、順不同に再生します。

■表示例 (Shuffle Album)



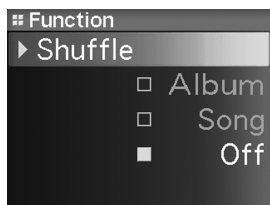
1 を押す

Function 画面が表示されます。



2 を回す

< Shuffle > を選びます。



3 を押す

Shuffle モードになります。

4 を回す

Shuffle 再生モードを選びます。

5 を押す

Shuffle モードを決定します。

6 または を押す

通常モードに戻ります。

■ Memo

- シャッフル・アルバム / シャッフル・ソングは、iPod/iPhone のシャッフル・アルバム / シャッフル・曲と同じ動作になります。

解除するには

上記手順で < Off > にする

通常の再生に戻ります。

曲順を変えて聴く Shuffle All (シャッフル All)

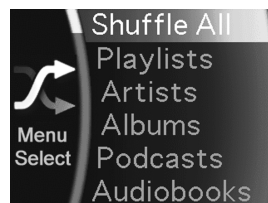
iPod/iPhone 内の全曲を順不同に再生させることができます。

■インジケーター表示

音楽モード	シャッフル再生モード
iPod	Shuffle All < 曲アイコン ALL >

1 を押す

Menu Select 画面が表示されます。



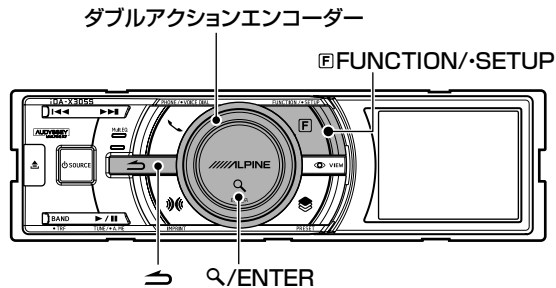
2 を押す

曲が順不同に再生されます。

解除するには

「曲順を変えて聴く Shuffle (シャッフル)」
(17 ページ) を参照し < Off > にする

通常の再生に戻ります。



繰り返し聴く REPEAT (リピート)

iPod モードでのリピート機能は、1 曲リピートのみになります。

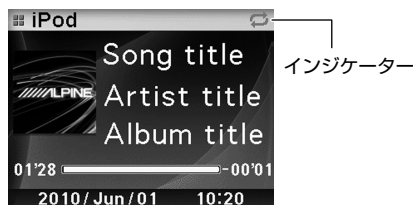
■インジケータ表示

音楽モード	リピート再生モード
iPod	Repeat Song ◀▶

Repeat Song :

再生中の曲 (ファイル) を繰り返し再生します。

■表示例 (Repeat Song)



1 FUNCTION/SETUP を押す

Function 画面が表示されます。



2 Q/ENTER を押す

Repeat モードになります。



3 ③ を回す

Repeat Song を選びます。

4 Q/ENTER を押す

Repeat Song を決定します。

5 FUNCTION/SETUP または ② を押す

通常モードに戻ります。

解除するには

上記手順で < Off > にする

通常の再生に戻ります。

■ Memo

- ・シャッフル・リピート両方を設定するとどちらのインジケータも表示されますが、動作は 1 曲リピートになります。

聴きたい曲／タイトルを探す

iPod/iPhone には数百曲・数千曲が入るため聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではサーチ機能を使用して様々な検索を行うことができます。

検索には大きく 8 つのサーチモードがあります。それぞれのサーチモードには下表のように階層があり、より絞り込んだ検索ができます。

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
Playlists	Songs	—	—
Artists	Albums	Songs	—
Albums	Songs	—	—
Podcasts	Episodes	—	—
Audiobooks	—	—	—
Genres	Artists	Albums	Songs
Composers	Albums	Songs	—
Songs	—	—	—

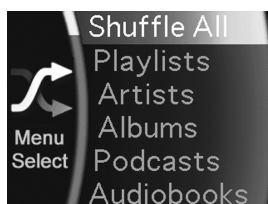
ここでは、アーティストサーチを例に説明します。ほかのサーチモードの場合でも、検索できる階層は異なりますが、同様の操作で検索ができます。

■ Memo

- 使用するサーチモードのみ選択することができます。「iPod/iPhone サーチモードの設定」(38 ページ)を参照してください。
- 例えば選んだアーティストにアルバムがひとつしかない場合、アルバムサーチを飛ばしてソングサーチモードになります。

1 を押す

Menu Select 画面が表示されます。



2 を回す

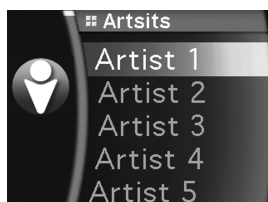
< Artists > を選びます。

3 を押す

Artist サーチモードになり、アーティスト名がリスト表示されます。

4 を回す

希望のアーティストを選びます。

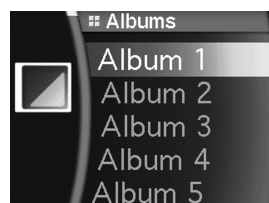


5 を押す

選択したアーティストの Album サーチモードになり、アルバム名がリスト表示されます。「Q/ENTER」を 2 秒以上押した場合は、選択したアーティストの全ての曲を再生します。

6 を回す

希望のアルバムを選びます。

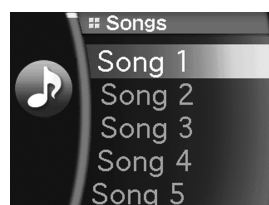


7 を押す

選択したアルバムの Song サーチモードになり、曲名がリスト表示されます。「Q/ENTER」を 2 秒以上押した場合は、選択したアルバムの全ての曲を再生します。

8 を回す

希望の曲を選びます。

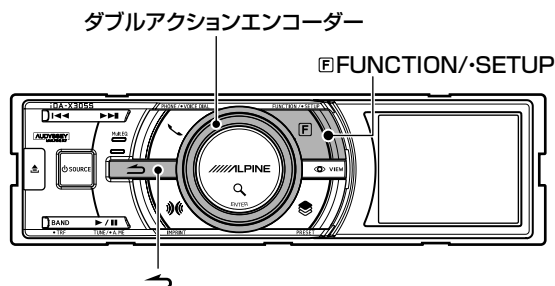


9 を押す

選択した曲が再生されます。

■ Memo

- リスト表示時にページスキップ機能、パーセントスキップ機能、アルファベツスキップ機能を使うことができます。詳しくは「ページスキップ/パーセントスキップ/アルファベツスキップ機能」(20 ページ)を参照してください。
- サーチモード中に「」を 2 秒以上押すと、サーチモードは解除されます。
- サーチモード中に「」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。
- 本機で対応していない文字情報の場合、< No Support > と表示されます。
- Playlist (プレイリスト) サーチの場合、iPod/iPhone に登録してある「iPod/iPhone 名」が表示されます。iPod/iPhone 名を選択して「Q/ENTER」を押すと、Song サーチモードになり iPod/iPhone 内のすべての曲を検索できます。iPod/iPhone 名を選択して「Q/ENTER」を 2 秒以上押すと、iPod/iPhone 内のすべての曲を繰り返し再生します。
- サーチモード中、All を選択して「Q/ENTER」を押すと、次の階層の全てのタイトルを検索することができます。例えば、アーティストサーチモードで All を選択して「Q/ENTER」を押すと、全アルバムのリストが表示されます。
- サーチモード中、All を選択して「Q/ENTER」を 2 秒以上押すと、現在の階層の全てのタイトルを繰り返し再生します。例えば、アルバムサーチモードで All を選択して「Q/ENTER」を 2 秒以上押すと、全てのアルバムを繰り返し再生します。



ページスキップ / パーセントスキップ / アルファベットスキップ機能

本機にはより効率よく検索するために、ページスキップ / パーセントスキップ / アルファベットスキップ機能が用意されています。サーチモード時に利用することで、アーティストや曲などをすばやく探し出すことができます。

1 を押して、お好みのスキップ機能に切りかえる

工場出荷時の設定は、ページスキップ機能になっています。

ページスキップ機能 → アルファベットスキップ機能 → パーセントスキップ機能 → ページスキップ機能

ページスキップ機能：

リスト選択時、ページ単位でスキップします。

アルファベットスキップ機能：

「A → B」のように次のアルファベットにスキップします。左側に回転させて「B → A」のように逆送りすることもできます。

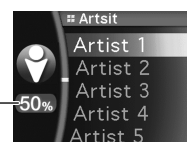
パーセントスキップ機能：

リストの総数を 100% とすると、リストを 10 分割して 10% ずつスキップします。

2 を押し込みながら廻す

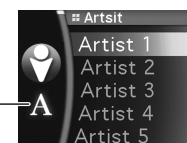
リストが次のページ、または次のアルファベット、または次のパーセントにスキップします。

■パーセントスキップ表示例



パーセント表示

■アルファベットスキップ表示例



アルファベット表示

■ Memo

- 「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻したままにしておくと、連続して切りかわります。
- リストの並び順は、iPod/iPhone の仕様に依存します。

サーチポジションメモリー

再生時、サーチモードで最後に曲を決定した階層にすぐに戻ることができます。



を押す

サーチモードで最後に曲を決定した階層が表示されます。

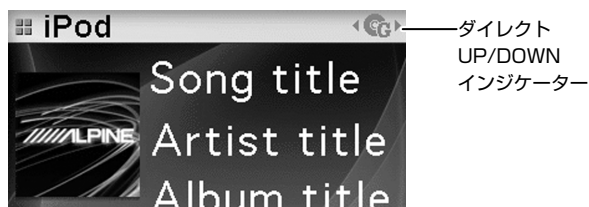
ダイレクト UP/DOWN 機能

「聴きたい曲／タイトルを探す」(19 ページ) で選択したアイテム (アルバムなど) を再生している場合、簡単な操作で聴きたいアイテムに切りかえることができます。

例えば、任意のアルバムに絞り込んでお聴きの場合は、ほかのアルバムに切りかえることができます。

■インジケータ表示

現在どのアイテムを UP/DOWN できるのかは、インジケータで表示されます。



	プレイリスト
	アーティスト
	アルバム
	ポッドキャスト
	オーディオブック
	ジャンル
	作曲者



を押し込みながら左に廻す

前のアイテムに戻ります。

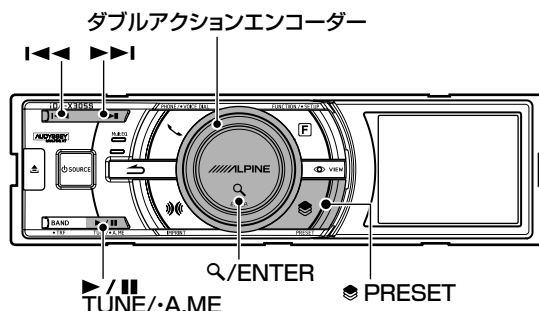


を押し込みながら右に廻す

次のアイテムに進みます。

■Memo

- サーチをしていない場合は、操作できません。
- Song サーチをした場合は、操作できません。
- タイプの異なるアイテムを選択することはできません。



画面の見かた

本機は USB メモリ、ポータブルオーディオプレーヤー、チェンジャーを接続して、CD、MP3/WMA/AAC ファイルを再生することができます。

USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー

■画面表示例 (タグ情報がある場合)



- 1 モード表示
- 2 曲名
- 3 アーティスト名
- 4 アルバム名
- 5 演奏経過時間
- 6 カレンダー／時計

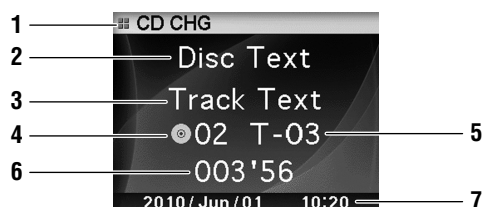
■画面表示例 (タグ情報がない場合)



- 1 モード表示
- 2 フォルダ名
- 3 ファイル名
- 4 演奏経過時間
- 5 カレンダー／時計

チェンジャー

■ CD 画面表示例 (CD テキストがある場合)



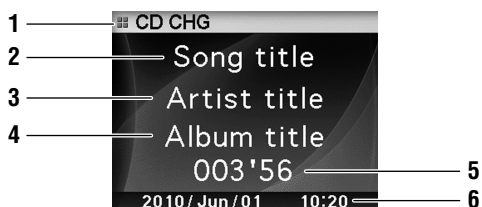
- 1 モード表示
- 2 CD テキスト (ディスク名)
- 3 CD テキスト (曲名)
- 4 ディスク No.
- 5 トラック No.
- 6 演奏経過時間
- 7 カレンダー／時計

■ CD 画面表示例 (CD テキストがない場合)



- 1 モード表示
- 2 ディスク No.
- 3 トラック No.
- 4 演奏経過時間
- 5 音量表示
- 6 カレンダー／時計

■ MP3 画面表示例 (タグ情報がある場合)



- 1 モード表示
- 2 曲名
- 3 アーティスト名
- 4 アルバム名
- 5 演奏経過時間
- 6 カレンダー／時計

■ MP3 画面表示例（タグ情報がない場合）



- 1 モード表示
- 2 フォルダ名
- 3 ファイル名
- 4 ディスク No.
- 5 フォルダ No.
- 6 ファイル No.
- 7 演奏経過時間
- 8 カレンダー／時計

■ Memo

- ・本機は英数、記号、カタカナ、ひらがな、漢字表示に対応しています。
- ・チェンジャー内のディスク（MP3 対応チェンジャーを除く）では、ひらがな・漢字に対応していません。
- ・MP3/WMA/AAC ファイルの場合は、タグ情報の表示ができます。タグ情報がない場合は、フォルダ名／ファイル名が表示されます。フォルダ名／ファイル名は、ライティングソフトによっては「全角文字」が表示できない場合があります。
- ・タグ情報が優先して表示されます。タグ情報がある場合は、フォルダ名／ファイル名は表示されません。
- ・ルートフォルダは「ROOT」と表示されます。
- ・CD チェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT 対応の CD チェンジャーのみです。
- ・本機で表示できない文字情報の場合、< No Support > と表示されます。
- ・文字を正確に表示できない場合があります。

聴きたい曲（ファイル）を選ぶ

⏮ を押す

再生中の曲（ファイル）の頭に戻ります。続けて押すと前の曲（ファイル）の頭出しをします。

⏭ を押す

次の曲（ファイル）に進みます。

早送り／早戻しをする（USB メモリ／チェンジャー）

⏮ を押し続ける

早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。

⏭ を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

■ Memo

- ・ポータブルオーディオプレーヤー接続時には、早送り／早戻しを行うことはできません。

一時停止する

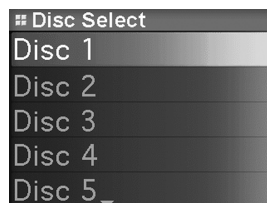
⏸ を押す

< Pause > を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

聴きたいディスクを選ぶ（チェンジャー）

1 を押す

Disc Select 画面が表示されます。



2 を廻す

ディスクを選びます。

3 を押す

選択したディスクの最初の曲が再生されます。

聴きたいフォルダを選ぶ（MP3/WMA/AAC）

を押し込んで左に廻す

前のフォルダに戻ります。

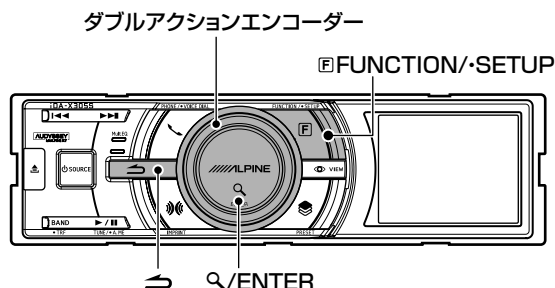
を押し込んで右に廻す

次のフォルダに進みます。

選択したフォルダの1つ目のファイルが再生されます。

■ Memo

- ・USB メモリ／ポータブルオーディオプレーヤーの M.I.X. 再生中には、本操作を行うことはできません。



曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)

曲(ファイル)を順不同に再生させることができます。音楽モードによってミックス再生の種類が異なります。それぞれのミックス再生モードは下表を参照してください。

音楽モード	ミックス再生モード	
USBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤー (MP3/WMA/AAC)	M.I.X. Folder <X■>	M.I.X. All <X ALL>
チェンジャー (CD)	M.I.X. One ^{*1} <X>	M.I.X. All <X ALL>
チェンジャー (MP3)	M.I.X. One ^{*1} <X>	M.I.X. Folder <X■>

※1 Repeat Disc 中に M.I.X. One にすると、そのディスク内での M.I.X. 演奏になり、インジケータは X 〇 ● と表示されます。

M.I.X. One :

1 枚のディスクの全曲を順不同に再生し、次のディスクに移動します。

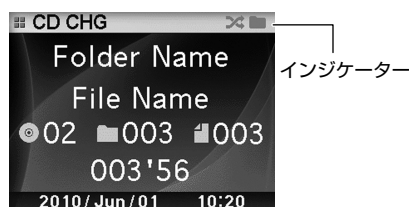
M.I.X. Folder :

フォルダ内のファイルを順不同に再生します。

M.I.X. All :

- USBメモリ / ポータブルオーディオプレーヤー内の全曲を順不同に再生します。
- すべてのディスクの全曲を順不同に再生します。(M.I.X. All 対応チェンジャーのみ)

■表示例 (MP3 チェンジャー : M.I.X. Folder)



1 FUNCTION/SETUP を押す

Function 画面が表示されます。



2 〇/ENTER を回す

< M.I.X. > を選びます。



3 〇/ENTER を押す

M.I.X. モードになります。

4 〇/ENTER を回す

M.I.X. 再生モードを選びます。

5 〇/ENTER を押す

M.I.X. モードを決定します。

6 FUNCTION/SETUP または 〇/ENTER を押す

通常モードに戻ります。

解除するには

上記手順で < Off > にする

通常の再生に戻ります。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

曲（ファイル）を繰り返し再生させることができます。
音楽モードによってリピート再生の種類が異なります。それぞれのリピート再生モードは下表を参照してください。

音楽モード	リピート再生モード		
USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤー (MP3/WMA/AAC)	Repeat One <🔄>	Repeat Folder <🔄📁>	—
チェンジャー (CD)	Repeat One <🔄>	Repeat Disc *2 <🔄💿>	—
チェンジャー (MP3)	Repeat One <🔄>	Repeat Folder <🔄📁>	Repeat Disc *2 <🔄💿>

※ 2 M.I.X. One 中に Repeat Disc にすると、そのディスク内での M.I.X. 演奏になり、インジケーターは と表示されます。

Repeat One :

再生中の曲（ファイル）を繰り返し再生します。

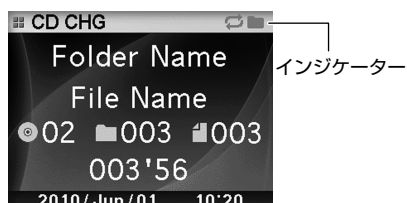
Repeat Folder :

フォルダ内のファイルを繰り返し再生します。

Repeat Disc :

ディスク内の曲を繰り返し再生します。

■表示例（MP3 チェンジャー：Repeat Folder）



1 を押す

Function 画面が表示されます。



2 を押す

Repeat モードになります。



3 を廻す

Repeat 再生モードを選びます。

4 を押す

Repeat モードを決定します。

5 または を押す

通常モードに戻ります。

解除するには

上記手順で < Off > にする

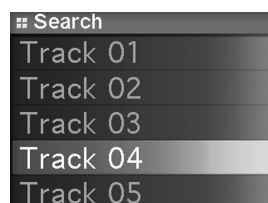
通常の再生に戻ります。

トラック No. から曲を探す (CD チェンジャー)

CD 再生時、トラック No. から曲を検索することができます。

1 を押す

サーチ画面が表示されます。



2 を廻す

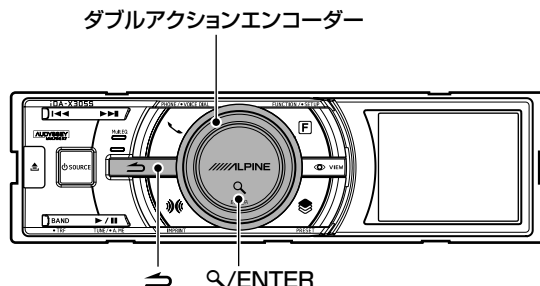
希望の曲を選びます。

3 を押す

選択した曲が再生されます。

■ Memo

- サーチモード中に「」を押すと、サーチモードは解除されます。
- M.I.X. 再生中にトラック No. サーチはできません。
- リスト選択中に「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻すと、リスト画面が 1 ページずつ切りかわります。「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻したままにしておくと、リスト画面が 1 ページずつ連続して切りかわります。



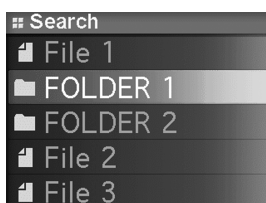
聴きたいフォルダまたはファイルを探す (MP3/WMA/AAC)

USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーまたはディスク内のフォルダまたはファイルを検索し再生することができます。

USB メモリ接続時

1 を押す

サーチモードになり、第 1 階層にあるフォルダ名／ファイル名が表示されます。



2 を回す

希望のフォルダ／ファイルを選びます。

3 を押す

手順 2 で選んだフォルダ／ファイルが決定されます。ファイルを選んで決定した場合は、選んだファイルが再生されます。フォルダを選んで決定した場合は、フォルダの中のフォルダ／ファイルが表示されます。手順 4 に進みます。

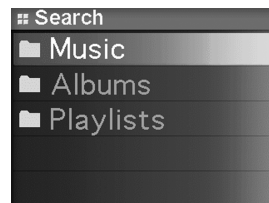
4 希望のファイルを決定するまで、手順 2～3 を繰り返す

ポータブルオーディオプレーヤー接続時

Windows Media Player Ver.10、11 で同期したポータブルオーディオプレーヤー接続時は、下記のように操作します。

1 を押す

サーチ画面が表示されます。



2 を回してサーチモードを選び、 を押す

< Music > を選んだ場合は Artist サーチモードになり、アーティスト名が表示されます。手順 3 に進んでください。
< Albums > を選んだ場合は手順 5-1 に進んでください。
< Playlists > を選んだ場合は手順 5-2 に進んでください。

3 を回す

希望のアーティストを選びます。

4 を押す

選択したアーティストの Album サーチモードになり、アルバム名がリスト表示されます。手順 5-1 に進んでください。

5-1  を廻して希望のアルバムを選び、 を押す

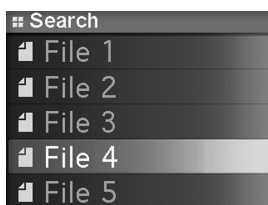
選択したアルバムの Song 検索モードになり、曲名がリスト表示されます。

5-2  を廻して希望のプレイリストを選び、 を押す

選択したプレイリストの Song 検索モードになり、曲名がリスト表示されます。

6  を廻す

希望の曲を選びます。



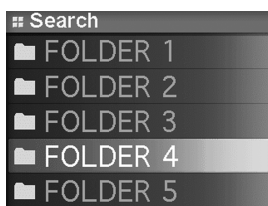
7  を押す

選択した曲が再生されます。

MP3 チェンジャー接続時

1  を押す

フォルダ検索モードになり、フォルダ名が表示されます。



2  を廻す

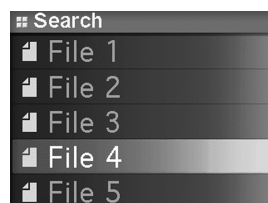
希望のフォルダを選びます。

3  を押す

手順 2 で選んだフォルダが決定され、フォルダの中のファイルが表示されます。

4  を廻す

希望のファイルを選びます。

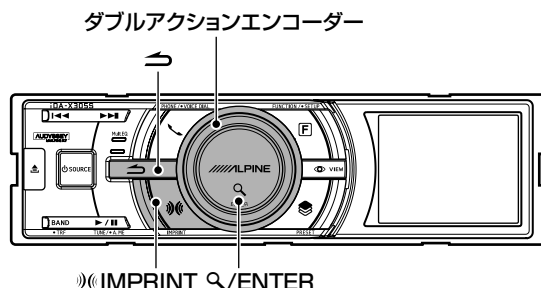


5  を押す

選んだファイルが再生されます。

■ Memo

- USB メモリ接続時は、第 8 階層までのフォルダ／ファイルを検索することができます。第 9 階層以降は、サーチ・再生を行うことはできません。
- リスト選択中に「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻すと、リスト画面が 1 ページずつ切りかわります。「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻したままにしておくと、リスト画面が 1 ページずつ連続して切りかわります。
- サーチモード中に「」を 2 秒以上押すと、サーチモードは解除されます。
- サーチモード中に「」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。
- M.I.X. 再生中にフォルダ／ファイルサーチはできません。
- フォルダにファイルがない場合はブランク表示（表示なし）になります。
- ルートフォルダは < ROOT > と表示されます。
- ポータブルオーディオプレーヤー接続時、「Playlists」が表示されるのは Playlist が作成してある場合のみです。
- ポータブルオーディオ接続時、USB マスストレージで接続する（Windows Media Player で同期しない）場合は、USB メモリ接続時のサーチ操作を参照してください。また、4 ページのご注意も参照してください。



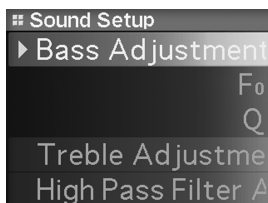
外部オーディオプロセッサ /IMPRINT オーディオプロセッサ接続時は、Sound Setup 画面は表示されません。外部オーディオプロセッサ接続時は「SETUP (セットアップ)」(32 ページ) の Audio Setup 操作 (38 ページ)、IMPRINT オーディオプロセッサ接続時は「IMPRINT (オプション)」(40 ページ) を参照してサウンド調整を行ってください。

低音の強調 (バスセンター周波数)

低音で強調したい周波数を設定 / 調整することができます。

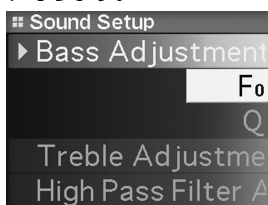
1 を 2 秒以上押す

Sound Setup 画面が表示されます。



2 を押す

Bass Adjustment 設定モードになります。

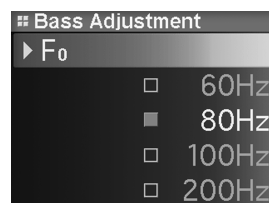


バスセンター周波数の設定

設定した周波数の音域 (低音) を強調します。(各音楽ソース共通)

3 を押す

F0 設定画面になります。



4 を押す

周波数設定が可能になります。

5 を回す

周波数を選びます。

6 を押す

選んだ周波数が決定されます。

7 設定が終了したら を押す

Bass Adjustment 設定モードに戻ります。

バス帯域幅の設定

設定した周波数に対して帯域幅を変更することができます。(各音楽ソース共通)

3 を回す

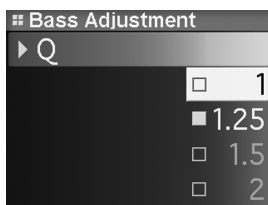
Q を選びます。

4 を押す

Q 設定画面になります。

5 を押す

帯域幅設定が可能になります。



6 を回す

帯域幅を選びます。

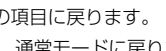
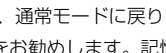
7 を押す

選んだ帯域幅が決定されます。

8 設定が終了したら を押す

Bass Adjustment 設定モードに戻ります。

■ Memo

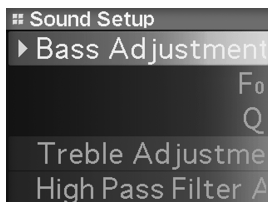
- ・ディフューザーが On のときは、本設定を行うことはできません。
- ・バスレベル調整は、通常モード時に行うことができます。「サブウーハー / バス / トレブル / バランス / フェダー / ラウドネス / ディフューザー / 音量を調整する」(13 ページ) を参照してください。各音楽ソースごとに調整が可能です。
- ・設定中に「」を押すと、一つ前の項目に戻ります。
- ・設定中に「」を 2 秒以上押すと、通常モードに戻ります。
- ・設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は 38 ページを参照してください。

高音の強調 (トレブルセンター周波数)

低音で強調したい周波数を設定 / 調整することができます。(各音楽ソース共通)

1 を 2 秒以上押す

Sound Setup 画面が表示されます。

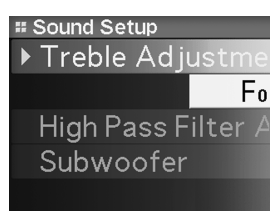


2 を回す

< Treble Adjustment > を選びます。

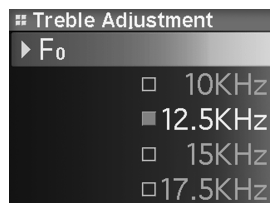
3 を押す

Treble Adjustment 設定モードになります。



4 を押す

F0 設定画面になります。



5 を押す

周波数が設定可能になります。

6 を回す

周波数を選びます。

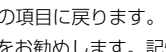
7 を押す

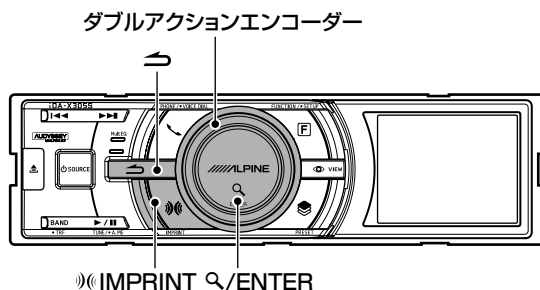
選んだ周波数が決定されます。

8 設定が終了したら を 2 秒以上押す

通常モードに戻ります。

■ Memo

- ・ディフューザーが On のときは、本設定を行うことはできません。
- ・トレブルレベル調整は、通常モード時に行うことができます。「サブウーハー / バス / トレブル / バランス / フェダー / ラウドネス / ディフューザー / 音量を調整する」(13 ページ) を参照してください。各音楽ソースごとに調整が可能です。
- ・設定中に「」を押すと、一つ前の項目に戻ります。
- ・設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は 38 ページを参照してください。

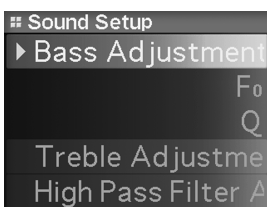


HPF の設定

サブウーハーと組み合わせたとき、設定した周波数から下の音域をカットすることでサブウーハーとの音のつながりを調整することができます。

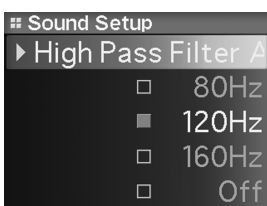
1 を 2 秒以上押す

Sound Setup 画面が表示されます。



2 を回す

< High Pass Filter Adjustment > を選びます。



3 を押す

High Pass Filter Adjustment 設定モードになります。

4 を回す

周波数を選びます。

5 を押す

選んだ周波数が決定されます。

6 設定が終了したら を押す

通常モードに戻ります。

Memo

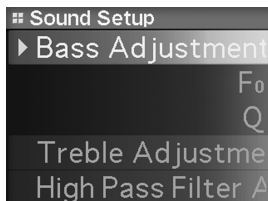
- ディフューザーが On のときは、本設定を行うことはできません。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は 38 ページを参照してください。

サブウーハーを接続する

別売のサブウーハーを接続したときは On に設定します。
(出荷時の設定は Subwoofer On)

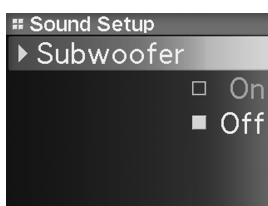
1 を 2 秒以上押す

Sound Setup 画面が表示されます。



2 を廻す

< Subwoofer > を選びます。



3 を押す

Subwoofer On/Off 設定モードになります。

4 を廻す

On を選びます。

5 を押す

Subwoofer On が決定されます。

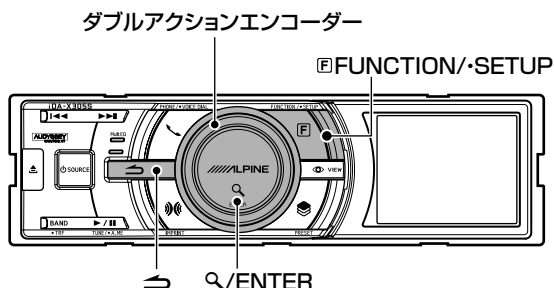
6 を押す

通常モードに戻ります。

■ Memo

- ・設定中に「」を押すと、一つ前の項目に戻ります。
- ・サブウーハー出力の設定は通常モード時に行うことができます。「サブウーハー/バス/トレブル/バランス/フェダー/ラウドネス/ディフィート/音量を調整する」(13 ページ)を参照してください。
- ・サブウーハーシステムの設定はセットアップモードで行うことができます。「サブウーハーの設定」(39 ページ)を参照してください。

SETUP (セッアップ)

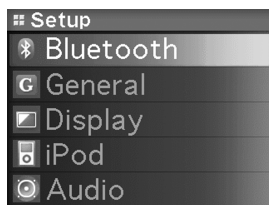


セッアップ (SETUP) する

本機には、さまざまなセッアップ (SETUP) 機能が用意されています。自分好みの設定に変更してお使いください。

1 を 2 秒以上押す

Setup モードになります。



2 を廻す

変更する項目を選びます。

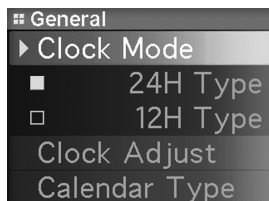
Bluetooth / General / Display / iPod / Audio

3 を押す

選んだ項目の、設定項目選択モードになります。

4 を廻す

変更する設定項目を表示させます。

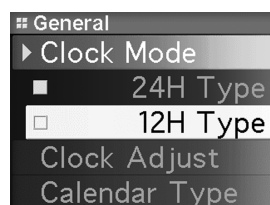


5 を押す

設定項目が決定されます。

6 を廻す

設定が切りかわります。



7 を押す

設定の変更が保存されます。

8 を 2 秒以上押す

元のモードに戻ります。

■ Memo

- セッアップ中に「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻すと、設定項目選択画面が 1 ページずつ切りかわります。「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻したままにしておくと、設定項目選択画面が 1 ページずつ連続して切りかわります。
- セッアップ中に「」を押すと、1 つ前の項目に戻ります。

設定項目一覧

設定項目	切替内容	参照ページ
Bluetooth		
Bluetooth IN	Adapter/Off	33 ページ
General		
Clock Mode	24H Type/12H Type	34 ページ
Clock Adjust *1	2010 (年) / Jan (月) / 01 (日) / 00 または 12 (時) / 00 (分)	11 ページ
Calendar Type	M/D/Y / D/M/Y / Y/M/D	34 ページ
Play Mode	CDDA/CDDA&MP3	34 ページ
Beep	On/Off	34 ページ
Int Mute	On/Off	34 ページ
Int Audio	On/Off	34 ページ
CHG Name *2	CHG/PMD	35 ページ
AUX IN	On/Off	35 ページ
AUX+	On/Off	35 ページ
AUX Name *3	Auxiliary/TV/VTR/Game/Portable	35 ページ
AUX+ IN GAIN	High/Low	35 ページ
Power IC	On/Off	36 ページ
Language	For US/For EU 1/For EU 2/For Japan/Other	36 ページ
Demo	On/Off	36 ページ
Display		
Illumination	Blue/Red	36 ページ
Dimmer	On/Off	37 ページ
Dimmer Level	Level 1/Level 2/Level 3	37 ページ
Text Scroll	Type 1/Type 2/Off	37 ページ
BGV Select	Type 1/Type 2/Type 3/User	37 ページ
BGV Color	Type 1/Type 2	37 ページ
BGV Download	Start	37 ページ
iPod		
Playlists	On/Off	38 ページ
Artists	On/Off	38 ページ
Albums	On/Off	38 ページ
Podcasts	On/Off	38 ページ
Audiobooks	On/Off	38 ページ
Genres	On/Off	38 ページ
Composers	On/Off	38 ページ
Songs	On/Off	38 ページ
Audio *4		
User Preset	User 1/User 2/User 3/ User 4/User 5/User 6	38 ページ
MX *5	On/Off	39 ページ
Subwoofer *5	On/Off	39 ページ
Subwoofer System *6	Sys 1/Sys 2	39 ページ
MX Level Adjustment *5 *7	Non Effect/Level 1/ Level 2/Level 3	39 ページ

- ※ 1 Clock Adjust については、「カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)」(11 ページ) を参照してください。
- ※ 2 チェンジャー接続時のみ設定することができます。また、チェンジャー 2 台接続時は「CHG1 Name」「CHG2 Name」と表示されます。
- ※ 3 AUX IN が On 時のみ設定することができます。KCA-410C 接続時は、AUX1 Name、AUX2 Name を設定することができます。

- ※ 4 Audio 設定は、IMPRINT オーディオプロセッサ接続時にはさらに詳細な設定を行うことができます。詳しくは「IMPRINT 操作 (オプション)」(40 ページ) を参照してください。
- ※ 5 外部オーディオプロセッサ接続時のみ設定することができます。詳しい操作については、接続する外部オーディオプロセッサの取扱説明書を参照してください。
- ※ 6 Subwoofer On 時のみ設定することができます。
- ※ 7 MX On 時のみ設定することができます。

■ Memo

- リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしても設定は保持されます。(カレンダー／時計の設定を除く)

Bluetooth

BLUETOOTH 接続設定 (Bluetooth IN)

別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) と組み合わせると、BLUETOOTH 搭載携帯電話でハンズフリー通話ができます。

この設定は、別売の BLUETOOTH INTERFACE を接続して BLUETOOTH 機能を使用するときに設定します。BLUETOOTH 操作について、詳しくは別売の BLUETOOTH INTERFACE の取扱説明書を参照してください。

設定項目：Bluetooth IN

設定内容：Adapter/ Off (出荷時の設定)

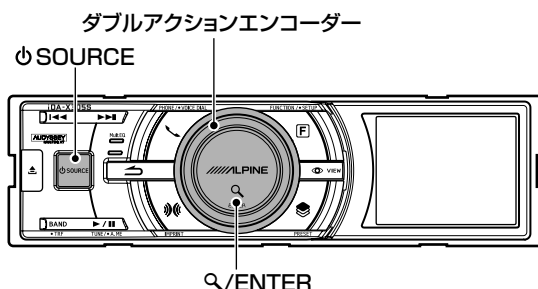
Adapter：BLUETOOTH 機能が使用できます。

Off：BLUETOOTH 機能は使用できません。

■ Memo

- Int Mute が On に設定されていると、BLUETOOTH 設定を行うことはできません。BLUETOOTH INTERFACE 接続時は、Int Mute を Off に設定してください。(「外部割り込みモードの設定 (Int Mute)」34 ページ参照)。

SETUP (セッアップ)



General

時刻表示の設定 (Clock Mode)

時刻表示のタイプを設定することができます。

設定項目：Clock Mode

設定内容：24H Type/12H Type (出荷時の設定)

24H Type : 24 時間表示になります。

12H Type : 12 時間表示になります。

カレンダー表示パターンの設定 (Calendar Type)

カレンダーの表示パターンをお好みに合わせ切りかえることができます。

カレンダー日付設定については「カレンダー／時計を調整する (Clock Adjust)」(11 ページ) を参照してください。

設定項目：Calendar Type

設定内容：M/D/Y

D/M/Y

Y/M/D (出荷時の設定)

M/D/Y : 月 / 日 / 年の順で表示されます。

D/M/Y : 日 / 月 / 年の順で表示されます。

Y/M/D : 年 / 月 / 日の順で表示されます。

MP3 再生データ設定 (Play Mode)

MP3 対応チェンジャー接続時に設定します。

Enhanced CD (CD Extra) 形式で作成されたディスク (同じディスクにオーディオデータ (CD-DA) と MP3 データが混在するディスク) の場合、オーディオデータのみを再生するか、オーディオデータと MP3 の両方とも再生するかを設定することができます。

■ Memo

- この設定を行ったらディスクチェンジを行ってください。

設定項目：Play Mode

設定内容：CDDA (出荷時の設定) /CDDA&MP3

CDDA : オーディオデータのみを再生できます。

CDDA&MP3 : オーディオデータと MP3 両方を再生できます。

操作音設定 (Beep)

ボタンを押したときに操作音を鳴らして、操作を受け付けたことを伝えます。

設定項目：Beep

設定内容：On (出荷時の設定) /Off

On : ボタンを押したときに操作音が鳴ります。

Off : ボタンを押したときに操作音が鳴りません。

外部割り込みモードの設定 (Int Mute)

別売の Versatile Link Terminal (KCA-410C) /Ai-RCA 変換ケーブル (KCA-121B) などと組み合わせると、テレビの音声などを本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

設定項目：Int Mute

設定内容：On (出荷時の設定) /Off

- 音声認識対応のナビゲーションなどのミュートコードと接続した際に On に設定します。(本機の音量がミュートします。)
- BLUETOOTH Box と組み合わせる場合は Off に設定してください。

■ Memo

- 組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。
- BLUETOOTH が Adapter に設定されていると、本設定を行うことはできません。(「BLUETOOTH 接続設定 (Bluetooth IN)」33 ページ参照)

外部割込み時のディフイート設定 (Int Audio)

外部割込みした音声に対し、本機 Bass/Treble/HPF をディフイートさせて出力させます。

(ディフイート：Bass/Treble/HPF を初期値にします。)

設定項目：Int Audio

設定内容：On/Off (出荷時の設定)

チェンジャーの名称設定 (CHG Name)

チェンジャー（別売）接続時、表示されるモード名称を設定することができます。

設定項目：CHG Name

設定内容：CHG（出荷時の設定）/PMD

■ Memo

- チェンジャー 2 台接続時は、CHG1 Name/CHG2 Name と表示され、それぞれ設定することができます。

外部入力の設定 (AUX IN)

別売りの Ai-RCA 交換ケーブル (KCA-121B) と組み合わせると、RCA 音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

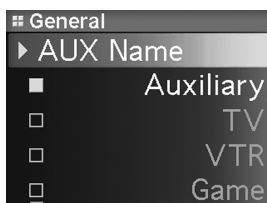
設定項目：AUX IN

設定内容：On/Off（出荷時の設定）

AUX IN を On に設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品の表示名を選択してください。

1 を廻す

< AUX Name > を表示させます。



2 を押す

表示名選択モードになります。

3 を廻す

外部入力製品の表示名を「Auxiliary」、「TV」、「VTR」、「Game」、「Portable」から選びます。

4 を押す

表示名が決定されます。

外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時) (AUX IN)

別売りの Versatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせると、RCA 音声出力を持つテレビやビデオを 2 台まで本機に音声を入力させることができます。

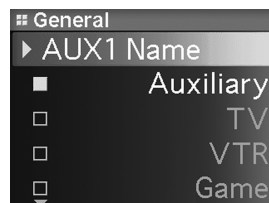
設定項目：AUX IN

設定内容：On/Off（出荷時の設定）

AUX IN を On に設定した場合は、続いて以下の操作で外部入力製品の表示名を選択してください。

1 を廻す

< AUX1 Name > または < AUX2 Name > を表示させます。



2 を押す

表示名選択モードになります。

3 を廻す

外部入力製品の表示名を「Auxiliary」、「TV」、「VTR」、「Game」、「Portable」から選びます。

4 を押す

表示名が決定されます。

外部入力の設定 (AUX+)

別売りの KCE-237B (3.5φミニジャック変換ケーブル) を BLUETOOTH インターフェースコネクターへ接続することで、ポータブルプレーヤーなどを本機に入力させることができます。

設定項目：AUX+

設定内容：On/Off（出荷時の設定）

■ Memo

- On に設定後、「 SOURCE」を押して、Auxiliary + モードを選び、音量などを調整します。

外部入力音声レベルの調整 (AUX+ IN GAIN)

AUX+ を On に設定した場合に、外部入力音声レベルの調整を行うことができます。

外部入力音声が歪む場合には High に設定してください。

設定項目：AUX+ IN GAIN

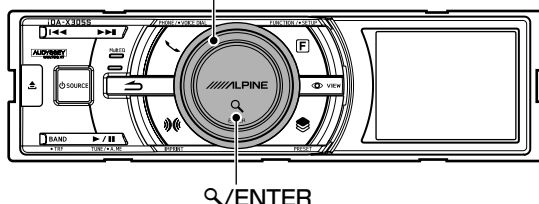
設定値：High（出荷時の設定）/Low

High：外部入力の音声レベルが大きい場合の設定。

Low：外部入力の音声レベルが小さい場合の設定。

SETUP (セッアップ)

ダブルアクションエンコーダー



外部アンプの接続 (Power IC)

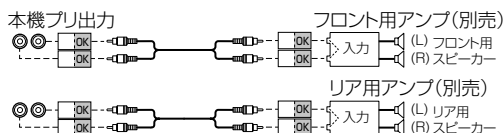
外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。そのときは OFF にしてください。

設定項目：Power IC

設定内容：On (出荷時の設定) / Off

Power IC Off：

本機のフロント／リア出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定します。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されません。



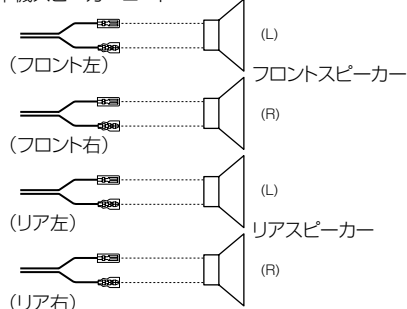
Power IC On：

内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定します。

■ Memo

- このシステムで「Off」に設定すると音は出ません。

本機スピーカーコード



■ Memo

- サブウーハー用外部アンプのみ接続する場合は、「On」に設定してください。

言語の設定 (Language)

本機で表示する言語を設定します。出荷時の設定は For Japan (日本語対応) ですので、そのままご使用ください。

設定項目：Language

設定内容：For US/For EU1/For EU2/

For Japan (出荷時の設定) /Other

For US : 英語、フランス語、スペイン語

For EU1 : ロシア語、英語

For EU2 : 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、
イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語

For Japan : 日本語、英語

Other : 中国語 (簡体字)、英語

デモンストレーション機能 (Demo)

本機には、表示の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

設定項目：Demo

設定内容：On/Off (出荷時の設定)

■ Memo

- デモンストレーションをご使用になったら、必ず「Off」に設定して解除してください。

Display

照光ボタンの色設定 (Illumination)

照光ボタンの色を切りかえることができます。

設定項目：Illumination

設定内容：Blue (出荷時の設定) /Red

ディスプレイの明るさ調整 (Dimmer)

ヘッドライト点灯に合わせて、ディスプレイと照光ボタンの明るさを変更できます。夜間、ディスプレイが明るすぎる場合には On にすることをお勧めします。

設定項目 : Dimmer

設定内容 : On/Off (出荷時の設定)

On : ヘッドライトを点灯すると、ディスプレイと照光ボタンが減光します。

Off : ヘッドライトを点灯してもディスプレイと照光ボタンは減光しません。

■ Memo

- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。

ディスプレイの明るさレベルを調整する (Dimmer Level)

本機は、ディスプレイと照光ボタンの明るさを調整することができます。例えば、夜間走行時に画面の明るさを調整するときなどに使います。

Level1 → Level3 の順に、ディスプレイとボタンの明るさは暗くなります。

設定項目 : Dimmer Level

設定内容 : Level1 (出荷時の設定) / Level2 / Level3

テキストスクロール設定 (Text Scroll)

ソース画面の曲名／ファイル名のスクロールタイプを設定できます。またサーチモード画面でも、テキストを表示しきれない場合はスクロールを行います。また、スクロールのタイプを 2 タイプからお好みで選ぶことができます。

設定項目 : Text Scroll

設定内容 : Type1 / Type2 / Off (出荷時の設定)

Type1 / Type2 : 繰り返しスクロールします。

Off : 最初の一度だけスクロールします。

■ Memo

- 本設定に関わらず、画面に全てのテキストが表示しきれない場合のみスクロールを行います。

壁紙の設定 (BGV Select)

ディスプレイの背景 (壁紙) をお好みにな合わせ 3 タイプより選ぶことができます。

また、「壁紙のダウンロード (BGV Download)」(37 ページ参照) でダウンロードした壁紙を呼び出すには、User を選択してください。

設定項目 : BGV Select

設定内容 : Type1 (出荷時の設定) / Type2 / Type3 / User

壁紙のカラー設定 (BGV Color)

ディスプレイの背景 (壁紙) の色を、お好みにな合わせ 2 タイプより選ぶことができます。

設定項目 : BGV Color

設定内容 : Type1 (出荷時の設定) / Type2

Type1 : 青系

Type2 : 赤系

壁紙のダウンロード (BGV Download)

アルパインホームページ内ユーザーズルームに壁紙データを公開しています。この壁紙データをダウンロードし、USB メモリに保存した後、本機にダウンロードし記憶することができます。

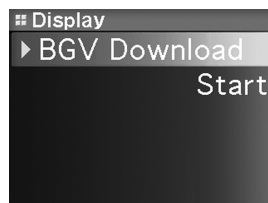
サービスを開始するには下記の URL にアクセスし、画面上の指示に従って操作してください。

アルパイン User's Room :

<https://secure.alpine.co.jp/urs/top.html>

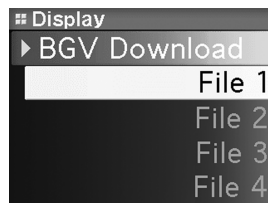
1 を廻す

< BGV Download > を選びます。



2 を押す

USB メモリ内のデータがサーチされ、最大 10 ファイルが表示されます。



3 を廻す

ファイルを選びます。

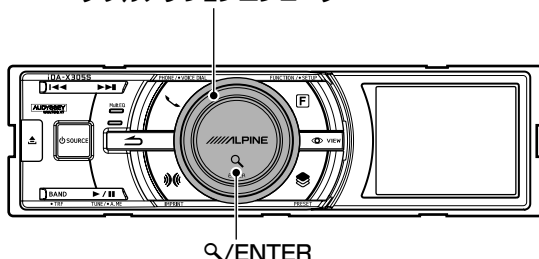
4 を押す

選択したファイルが本機にダウンロードされます。

■ Memo

- 本設定は USB メモリソース時のみ行うことができます。
- ダウンロードデータの拡張子は「.apn」です。
- ご自身で作成した壁紙を本機に表示させることはできません。
- 本機にダウンロードした壁紙を表示させるには、「壁紙の設定 (BGV Select)」(37 ページ) で User を選択してください。

ダブルアクションエンコーダー



iPod/iPhone

iPod/iPhone サーチモードの設定

本機では iPod/iPhone を 8 つのサーチモードで検索することができます。使用しないサーチモードは Off に設定することもできます。

設定項目：Playlists/Artists/Albums/Podcasts /Audiobooks

設定内容：On (出荷時の設定) /Off

設定項目：Genres/Composers/Songs

設定内容：On/Off (出荷時の設定)

■ Memo

- サーチモードについては、「聴きたい曲 / タイトルを探す」(19 ページ) を参照してください。

Audio

オーディオ調整値を記憶する

本機は調整 / 設定した内容を 6 つまで記憶させることができます。

下記調整 / 設定項目の全てが 1 つのプリセットメモリーに記憶されます。

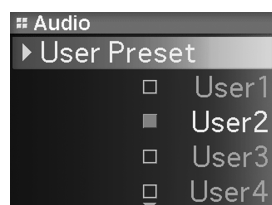
調整 / 設定項目	参照ページ
バランス調整 (Balance)	13 ページ
フェダー調整 (Fader)	13 ページ
ラウドネス設定 (Loudness)	13 ページ
低音の強調 (バスセンター周波数)	28 ページ
高音の強調 (トレブルセンター周波数)	29 ページ
HPF の設定	30 ページ

設定項目：User Preset

設定内容：User1 ~ User6

1 User Preset を選んで  を押す

User Preset 画面が表示されます。



2  を回す

プリセット No. を選びます。

3  を 2 秒以上押す

押された No. に調整 / 設定値が記憶されます。

オーディオ調整値を呼び出す

「オーディオ調整値を記憶する」(38 ページ) で記憶した内容を呼び出すことができます。

1 User Preset を選んで を押す

User Preset 画面が表示されます。

2 を回す

プリセット No. を選びます。

3 を押す

選んだ No. の調整 / 設定値が呼び出されます。

■: Memo

- User Preset 画面は、通常モード時に「PRESET」を 2 秒以上押して呼び出すこともできます。
- 外部オーディオプロセッサ接続時：
外部オーディオプロセッサで調整・記憶したプリセットの呼び出しのみを行うことができます。

サブウーハーの設定

「サブウーハーを接続する」(31 ページ) が On のときに設定することができます。

設定項目 : Subwoofer System

設定内容 : Sys 1 (出荷時の設定) / Sys 2

SYS1 : 音量と連動してサブウーハー効果が得られます。

SYS2 : 音量が低くてもサブウーハー効果が得られます

MX モードの ON/OFF (MX)

MX (Media Xpander) モードの ON/OFF を設定します。
Off に設定した場合は、すべての音楽モードで MX OFF となります。

設定項目 : MX

設定内容 : On/Off (出荷時の設定)

■: Memo

- 外部オーディオプロセッサ接続時のみ設定することができます。

サブウーハー接続 (Subwoofer)

別売のサブウーハーを接続したときに設定します。

設定項目 : Subwoofer

設定内容 : On (出荷時の設定) / Off

On : サブウーハー接続時に設定します。

Off : サブウーハー未接続時に設定します。

■: Memo

- 外部オーディオプロセッサ接続時のみ設定することができます。

MX レベルの設定 (MX Level Adjustment)

MX (Media Xpander) モードでは、FM ラジオ / iPod / iPhone など音楽モードごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

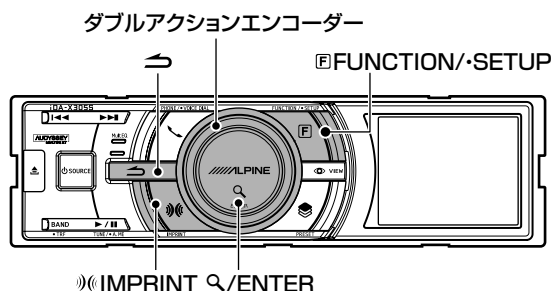
設定項目 : MX Level Adjustment

設定内容 : Non Effect / Level 1 / Level 2 / Level 3 (出荷時の設定)

■: Memo

- MX モード設定が ON 時のみ設定することができます。
- 外部オーディオプロセッサ接続時のみ設定することができます。

IMPRINT (オプション)



IMPRINT 操作

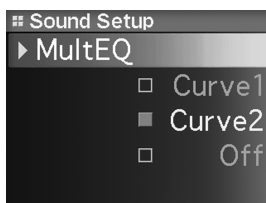
別売の IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) と組み合わせることで、車内の最適音響空間を創り出すことができます。

MultEQ の ON/OFF

MultEQ とは、Audyssey 社が開発した Automatic Room Correction (自動室内音響補正) テクノロジーです。車室内の音響を自動測定したデータをもとに、どの座席においても最適な音響効果を得ることができるシステムです。MultEQ を使用するには、事前に車室内の音響測定が必要になります。詳しくは、お買い上げ店にお問合せください。

1 を 2 秒以上押す

MultEQ モードになります。



2 を押す

MultEQ が設定可能になります。

3 を廻す

MultEQ モードを選びます。
Curve1/Curve2/Off

Curve1/Curve2 : MultEQ ON
Off : マニュアルモード

4 を押す

設定内容が決定されます。

5 を 2 秒以上押す

元のモードに戻ります。

Memo

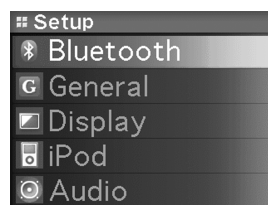
- MultEQ を ON にすると、MX、X-OVER、タイムコレクション、Factory's EQ、パラメトリック EQ、グラフィック EQ は自動的に設定され、調整できません。
- MultEQ の ON/OFF 設定、MultEQ カーブは、リセットしたときやバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。

サウンド調整 (マニュアルモード)

MultEQ を Off (マニュアルモード) に設定した場合、さまざまな設定／調整を行い自分好みのサウンドを創り出すことができます。マニュアルモードで調整した内容は、全ての項目を 1 つのプリセットにまとめて記憶することができます。「調整内容の記憶と呼び出し」(48 ページ) を参照してください。

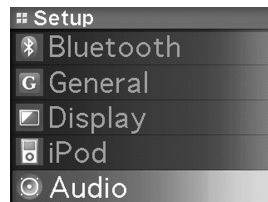
1 を 2 秒以上押す

SETUP モードになります。



2 を廻す

Audio を選びます。

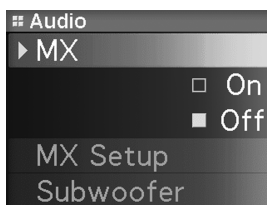


3 を押す

Audio 選択モードになります。

4 を廻す

設定／調整する項目を選択します。



サウンド調整項目一覧も参照してください。

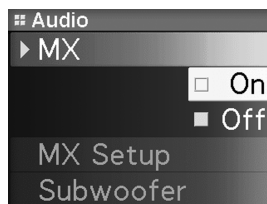
User Preset/MX/Factory's EQ/Sound Field Adjustment/Subwoofer/Subwoofer System/Subwoofer Phase/Subwoofer Channel/Tweeter/EQ Mode/Filter Type/Time Correction Parameter/MX Level Adjustment

5 を押す

設定項目が決定されます。

6 を廻す

設定が切りかわります。



7 を押す

設定の変更が保存されます。

8 設定／調整項目によっては、手順 6～7を繰り返し行う

9 を2秒以上押す

元のモードに戻ります。

■ Memo

- MultEQ を On に設定しているときは User Preset/Subwoofer/Subwoofer Phase/Subwoofer Channel 以外調整できません。
- 設定中に「」を押すと、1つ前の項目に戻ります。
- セットアップ中に「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻すと、設定項目選択画面が1ページずつ切りかわります。「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻したままにしておくと、設定項目選択画面が1ページずつ連続して切りかわります。

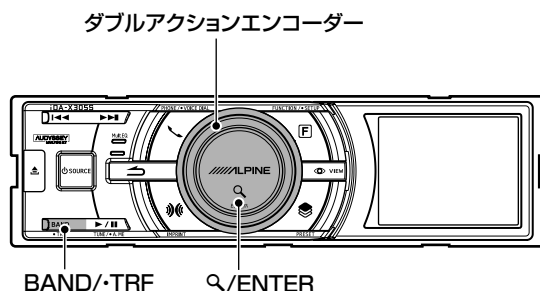
サウンド調整項目

設定項目	切替内容	参照ページ
User Preset	User 1/User 2/User 3/ User 4/User 5/User 6	48 ページ
MX	On/Off	42 ページ
Factory's EQ	Flat/Pops/Rock/ News/Jazz&Blues/ ElectricDance/ HipHop&Rap/Easy Listening/Country/ Classical /User 1 ~ 6	42 ページ
Sound Field Adjustment	EQ Adjustment/Time Correction/X-Over	43 ページ～ 45 ページ
Subwoofer	On/Off	47 ページ
Subwoofer System *1	Sys 1/Sys 2	47 ページ
Subwoofer Phase *1	Normal/Reverse	47 ページ
Subwoofer Channel *1	Stereo/Mono	47 ページ
Tweeter *2	Makers/User's	47 ページ
EQ Mode	Graphic/Parametric	42 ページ
Filter Type	Normal/Individual	47 ページ
Time Correction Parameter	cm/inch	47 ページ
MX Level Adjustment *3	Non Effect/Level 1/ Level 2/Level 3	42 ページ

※ 1 Subwoofer On 時のみ設定することができます。

※ 2 IMPRINT オーディオプロセッサー (PXA-H100) 側の X-OVER 切りかえスイッチが「3WAY」に設定されている場合のみ、Tweeter 設定を選択することができます。

※ 3 MX が OFF の場合、調整できません。



MX モードの ON/OFF

MX (Media Xpander) モードの ON/OFF を設定します。OFF に設定した場合は、すべての音楽モードで MX OFF となります。

設定項目：MX

設定内容：On/Off (出荷時の設定)

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(13 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

MX レベルの設定

MX (Media Xpander) モードでは、FM ラジオ / iPod / iPhone など音楽モードごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

設定項目：MX Level Adjustment

設定内容：Non Effect/Level 1/Level 2/Level 3 (出荷時の設定)

- Non Effect を選ぶと MX の効果が OFF になる。
- 現在選んでいる音楽モード (FM ラジオ / MP3 など) についてのレベルを調整できる。

FM : Level1 ~ 3、Non Effect

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

CD : Level1 ~ 3、Non Effect

情報量豊富な CD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

MP3/WMA/AAC/iPod/BLUETOOTH Audio : Level1 ~ 3、Non Effect

圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

DVD (Video CD) : Level1 ~ 2 (MOVIE)、Level3 (MUSIC)、Non Effect

- Level1 ~ 2 (MOVIE) : 映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。
- Level3 (MUSIC) : ミュージッククリップなどのディスクに対し、メリハリのある音を再生する。

AUX : Level1 (MP3/WMA/AAC/iPod/BLUETOOTH Audio)、Level2 (MUSIC)、Level3 (MOVIE)、Non Effect

接続するメディアに対応した MX モード (MUSIC、MOVIE) が選べる。

■ Memo

- AM ラジオは MX を設定できません。
- MX レベルは 1 → 3 の順に効果が大きくなります。
- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(13 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 「MP3/WMA/AAC → CD-DA」、「CD-DA → MP3/WMA/AAC」に曲が切りかわったときは、MX モードの切りかえ処理のため、曲の演奏までに多少時間がかかることがあります。

イコライザー特性 (メーカー設定) を選ぶ (Factory's EQ)

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定することができます。

設定項目：Factory's EQ

設定内容：Flat/Pops/Rock/News/Jazz&Blues/ElectricDance/HipHop&Rap/Easy Listening/Country/Classical/User 1 ~ 6*

※ User1 ~ User6 は、「調整内容の記憶と呼び出し」(48 ページ) で記憶した EQ 調整値を呼び出します。

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(13 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

イコライザーモードの設定 (EQ Mode)

イコライザーモードを 7 バンドグラフィックイコライザーにするか 5 バンドパラメトリックイコライザーにするか、設定することができます。

設定項目：EQ Mode

設定内容：Graphic/Parametric (出荷時の設定)

Graphic : 7Band グラフィックイコライザーが使えます。

Parametric : 5Band パラメトリックイコライザーが使えます。

■ Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(13 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。

パラメトリック EQ の調整

グラフィック EQ では隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリック EQ は、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルをそれぞれ調整できるので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うことができます。「周波数帯域と音質について」（53 ページ）も調整の際の参考にしてください。パラメトリック EQ を調整するには、「イコライザーモードの設定（EQ Mode）」を Parametric にしてください。詳しくは「イコライザーモードの設定（EQ Mode）」（42 ページ）を参照してください。

設定項目：Sound Field Adjustment → EQ Adjustment
設定内容：バンド選択（Band）→ 周波数設定（Fo）/
バンド幅設定（Q）/ レベル調整（Gain）

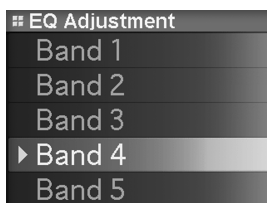
1 Sound Field Adjustment を選んで  を押す

2  を押す

EQ Adjustment 画面が表示されます。

3  を回す

バンドを選びます。
Band 1/Band 2/Band 3/
Band 4/Band 5

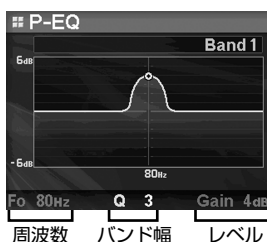


4  を押す

バンドが決定されて、それぞれのバンドの調整画面が表示されます。

5  を回す

周波数 / バンド幅 / レベル調整を行います。
現在調整されている項目が点灯します。



6  を押す

調整値が決定され、次の調整項目に移ります。
手順 5 ~ 6 を繰り返し、バンド内の項目を設定します。

7 選んだバンドの設定が済んだら  を押す

次のバンドの調整画面が表示されます。

8 手順 **5** ~ **7** を繰り返し、全てのバンドの調整を行う

周波数設定（Fo）

周波数を選びます。

設定内容：Band1 20Hz ~ 80Hz
Band2 50Hz ~ 200Hz
Band3 125Hz ~ 3.2kHz
Band4 315Hz ~ 8kHz
Band5 800Hz ~ 20kHz

バンド幅設定（Q）

バンド幅（Q）を設定します。

設定内容：1/1.5/3

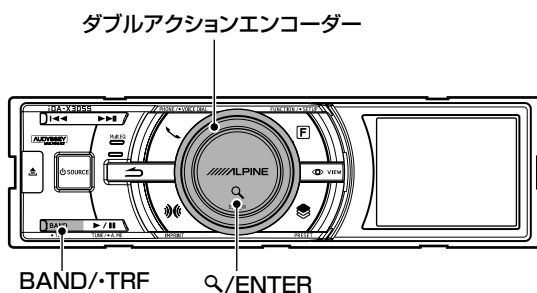
レベル調整（Gain）

各バンドのレベルを調整します。

設定内容：-6 ~ +6dB

Memo

- 「ディフェイト設定（Defeat）」（13 ページ）が ON のときは、操作を受け付けません。
- 隣り合うバンドの周波数は、4 ステップ以内に調整することはできません。
- 調整は、接続したスピーカーの再生周波数帯域を考慮してください。
- 調整中に「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻すと、バンドが切りかわって隣のバンドの調整を行うことができます。「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に廻したままにしておくと、バンドが連続して切りかわります。



グラフィック EQ の調整

7 つに分割された帯域範囲内で、思いどおりのきめ細かいレベル調整が可能です。グラフィック EQ を調整するには、イコライザーモードの設定 (EQ Mode) を Graphic にしてください。詳しくは「イコライザーモードの設定 (EQ Mode)」(42 ページ) を参照してください。

設定項目: Sound Field Adjustment → EQ Adjustment
設定内容: バンド選択 (Band) → 周波数設定 (F0) / レベル調整 (Gain)

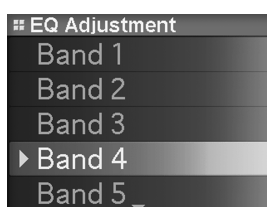
1 Sound Field Adjustment を選んで  を押す

2  を押す

EQ Adjustment 画面が表示されます。

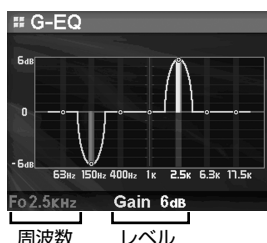
3  を廻す

バンドを選びます。
Band 1/Band 2/Band 3/
Band 4/Band 5/Band 6/
Band 7



4  を押す

バンドが決定されて、調整画面が表示されます。



5  を廻す

レベルを調整します。

6  を押す

レベルが決定され、周波数選択モードになります。

7  を廻す

周波数を選びます。黄色で表示されているのが選ばれている周波数。

8  を押す

周波数が決定され、レベル調整モードになります。

9 手順 **5** ~ **8** を繰り返し、各バンドのレベル調整を行う

周波数設定 (F0)

周波数を選びます。

設定項目: Band1(63Hz)/Band2(150Hz)/
Band3(400Hz)/Band4(1kHz)/
Band5(2.5kHz) /Band6(6.3kHz)/
Band-7(17.5kHz)

レベル調整 (Gain)

レベルを調整します。

設定内容: -6 ~ +6dB

Memo

- 「ディフェルト設定 (Defeat)」(13 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 調整中「BAND/TRF」を押してもバンドを切りかえることができます。

タイムコレクションの設定

お好みのリスニングポジションへの音の到達時間差を設定します。操作の前に「タイムコレクション（時間補正）について」（49 ページ）を参照して、各スピーカーの距離を測定して設定します。

設定項目：Sound Field Adjustment → Time Correction
設定内容：スピーカー選択 → 距離（時間）補正

1 Sound Field Adjustment を選んで を押す

2 を回す

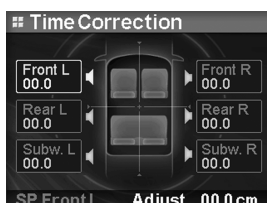
Time Correction を選びます。

3 を押す

Time Correction 画面が表示されます。

4 を回す

スピーカーを選びます。



IMPRINT オーディオプロセッサの X-OVER 切りかえスイッチの設定によって、調整するスピーカーが異なります。次の通り、各スピーカーの調整を行ってください。

■ F/R/SUBW. システム時

設定内容：Front L（左前スピーカー）/Front R（右前スピーカー）/Rear L（左後スピーカー）/Rear R（右後スピーカー）/Subw. L（サブウーハー左）/Subw. R（サブウーハー右）

■ 3WAY システム時

設定内容：High L（ハイレンジスピーカー左）/High R（ハイレンジスピーカー右）/Mid L（ミッドレンジスピーカー左）/Mid R（ミッドレンジスピーカー右）/Low L（サブウーハー左）/Low R（サブウーハー右）

5 を押す

スピーカーが決定されます。

6 を回す

各スピーカーの距離を調整します。

設定内容：0.0cm ～ 336.6cm(0.0inch ～ 132.7inch)

7 を押す

調整値が決定され、スピーカー選択モードになります。

8 手順 4 ～ 7 を繰り返し、全てのスピーカーを設定する

■ Memo

- 調整中に「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に回すと、スピーカーが切りかわって隣のスピーカーの調整を行うことができます。「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に回したままにしておくと、スピーカーが連続して切りかわります。また、「BAND/TRF」を押しても切りかえることができます。

X-OVER（クロスオーバー）の調整

スピーカー特性に合った最適な音響空間を設定することができます。操作の前に、「X-OVER について」（51 ページ）を参照してください。

設定項目：Sound Field Adjustment → X-Over

設定内容：周波数選択（Fc）/ スロープ設定（Slope）/ レベル調整（Level）

1 Sound Field Adjustment を選んで を押す

2 を回す

X-Over を選びます。

3 を押す

X-Over 画面が表示されます。

4 を回す

バンドを選びます。

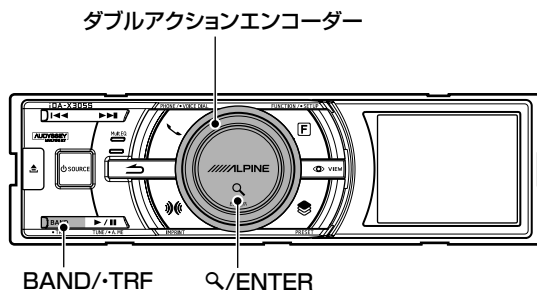
■ F/R/SUBW. システム／フィルタータイプ：Normal の設定
設定内容：Subw./ Rear/Front

■ F/R/SUBW. システム／フィルタータイプ：Individual の設定
設定内容：Subw. L/Subw. R/Rear L/Rear R/Front L/Front R

■ 3WAY システム／フィルタータイプ：Normal の設定
設定内容：Low/Mid-Low/Mid-High/High

■ 3WAY システム／フィルタータイプ：Individual の設定
設定内容：Low L/Low R/Mid-Low L/Mid-Low R/Mid-High L/Mid-High R/High L/High R

次ページに続く →



Memo

- 現在のシステムによって選択できるバンドの内容が異なります。「フィルタータイプの設定 (Filter Type)」(47 ページ) と IMPRINT オーディオプロセッサ側の X-OVER 切り替えスイッチを参照してください。

5 を押す

バンドが決定されて、それぞれのバンドの調整画面が表示されます。



6 を回す

周波数 / スロープ / レベル調整を行います。
現在調整されている項目が点灯します。

7 を押す

調整値が決定され、次の調整項目に移ります。
手順 6 ~ 7 を繰り返し、バンド内の項目を設定します。

8 選んだバンドの設定が済んだら を押す

次のバンドの調整画面が表示されます。

9 手順 6 ~ 8 を繰り返し、全てのバンドを設定する

周波数選択 (Fc)

■ F/R/SUBW. システム時

設定内容 : 20Hz ~ 200Hz

■ 3WAY システム時

設定内容 : Low/Mid-Low 20Hz ~ 200Hz,
Mid-High 20Hz ~ 20kHz,
High ^{※1} 1kHz ~ 20kHz
High ^{※2} 20Hz ~ 20kHz

- ※1 「ツイーター設定 (Tweeter)」(47 ページ) を Maker's に設定した場合。
- ※2 「ツイーター設定 (Tweeter)」(47 ページ) を User's に設定した場合。

Memo

- カットオフ周波数は、1/3 オクターブステップで変化します。

スロープ設定 (Slope)

スロープ (Slope) を設定します。

設定内容 : 0 / 6 / 12 / 18 / 24dB/oct

- ※ 3WAY システムでの High の場合は、「ツイーター設定 (Tweeter)」(47 ページ) で User's に設定した場合にのみ 0dB/oct 設定が可能になります。ただし、0dB/oct に設定するとツイーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて調整してください。0dB/oct にセットされる場合、メッセージが表示されます。設定には細心の注意を払ってください。

レベル調整 (Level)

レベルを調整します。

設定内容 : -12 ~ 0dB

Memo

- 調整中に「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に回すと、バンドが切りかわって隣のバンドの調整を行うことができます。「ダブルアクションエンコーダー」を押し込みながら左右に回したままにしておくと、バンドが連続して切りかわります。

サブウーハー接続 (Subwoofer)

別売のサブウーハーを接続したときに設定します。

設定項目 : Subwoofer

設定内容 : On (出荷時の設定) / Off

On : サブウーハー接続時に設定します。

Off : サブウーハー未接続時に設定します。

サブウーハーの設定 (Subwoofer System)

別売のサブウーハーの効果を設定することができます。

設定項目 : Subwoofer System

設定内容 : Sys1 (出荷時の設定) / Sys2

Sys1 : 音量と連動してサブウーハー効果が得られます。

Sys2 : 音量が低くてもサブウーハー効果が得られます。

サブウーハー出力の位相設定 (Subwoofer Phase)

サブウーハー出力の位相 (Normal (0°) / Reverse (180°)) を切りかえます。

好みの音が得られる方を選んでください。

設定項目 : Subwoofer Phase

設定内容 : Normal (出荷時の設定) / Reverse

サブウーハー出力の設定 (Subwoofer Channel)

本機のサブウーハー出力をステレオ出力またはモノラル出力に設定することができます。組み合わせるサブウーハーに合わせて設定してください。

設定項目 : Subwoofer Channel

設定内容 : Stereo (出荷時の設定) / Mono

Stereo : サブウーハー出力をステレオ (L/R) で出力します。

Mono : サブウーハー出力をモノラルで出力します。

ツイーター設定 (Tweeter)

「X-OVER(クロスオーバー)の調整」(45 ページ)において、3WAY モード時のハイレンジスピーカー (HPF) のスロープ設定を OdB/oct (FLAT) に設定できます。ただし、OdB/oct (FLAT) に設定するとツイーターを破壊する恐れがありますので、利用用途に応じて設定してください。

設定項目 : Tweeter

設定内容 : Maker's (出荷時の設定) / User's

Maker's : ツイーター保護のため、3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定では OdB/oct に設定できません。

User's : 3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定を OdB/oct に設定できます。設定には細心の注意を払ってください。

■ Memo

- IMPRINT オーディオプロセッサ (PXA-H100) 側の X-OVER 切りかえスイッチが「3WAY」に設定されている場合のみ、Tweeter SETUP モードを選択することができます。
- 3WAY モード時にハイレンジスピーカーのスロープ設定を OdB/oct に設定する場合、メッセージが表示されます。

フィルタータイプの設定 (Filter Type)

X-OVER 調整の際に、チャンネル L とチャンネル R を同じ数値に設定するか個別に設定するかを設定することができます。ここで設定した内容によって「X-OVER(クロスオーバー)の調整」(45 ページ)のバンド設定内容が変わります。

設定項目 : Filter Type

設定内容 : Normal (L=R) (出荷時の設定) / Individual (L/R)

Normal (L=R) : X-OVER 調整でチャンネル L/R が同じ調整値に設定されます。

Individual (L/R) : X-OVER 調整でチャンネル L/R を独立した調整値に設定できます。

タイムコレクション調整単位の設定 (Time Correction Parameter)

タイムコレクションの時間補正値の単位を cm または inch に変更することができます。

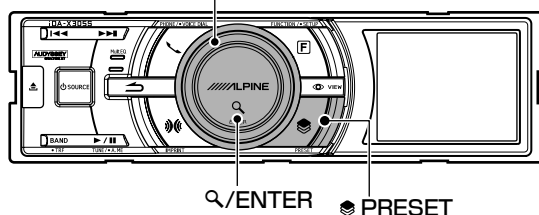
設定項目 : Time Correction Parameter

設定内容 : cm (出荷時の設定) / inch

cm : タイムコレクションの時間補正値の単位が「cm」になります。

inch : タイムコレクションの時間補正値の単位が「inch」になります。

ダブルアクションエンコーダー



調整内容の記憶と呼び出し

マニュアルモードで調整した内容は、全ての項目を 1 つのプリセットにまとめて記憶することができます。プリセットは 6 つまで使用することができます。

設定項目：User Preset

設定内容：User1 ～ User6

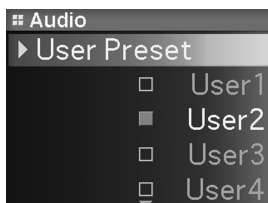
調整内容を記憶する

1 User Preset を選んで を押す

プリセット No. 選択モードになります。

2 を廻す

プリセット No. を選びます。



3 を 2 秒以上押す

押されたプリセット No. に調整 / 設定値が記憶されます。

■ Memo

- 「ディフティート設定 (Defeat)」 (13 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- 記憶した内容は、リセットしたときやバッテリー電源コードを外したときでも消去されません。
- User Preset 画面は、通常モード時に「●PRESET」を 2 秒以上押して呼び出すこともできます。

調整内容を呼び出す

「調整内容を記憶する」 (48 ページ) で記憶した内容を呼び出すことができます。

1 User Preset を選んで を押す

プリセット No. 選択モードになります。

2 を廻す

プリセット No. を選びます。

3 を押す

選んだプリセット No. の調整 / 設定値が呼び出されます。

■ Memo

- 「ディフティート設定 (Defeat)」 (13 ページ) が ON のときは、操作を受け付けません。
- User Preset 画面は、通常モード時に「●PRESET」を 2 秒以上押して呼び出すこともできます。

タイムコレクション (時間補正) について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。

2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

■ 具体例

右記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

(条件) :

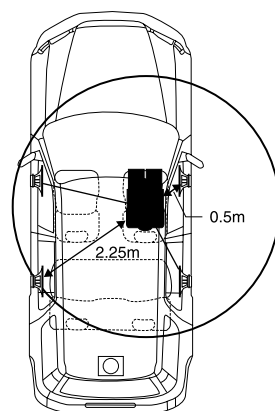
一番遠いスピーカー～リスニングポジション : 2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション : 0.5m

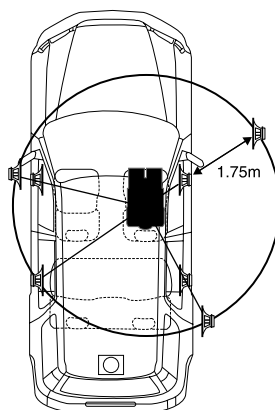
(算出) :

$L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

つまり、フロント右側スピーカーへ見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは 1.75m の差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。

右前スピーカーに 1.75m の距離（時間）補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

■ 時間差表

STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)	STEP 数	時間補正 (ms)	距離 (cm)	距離 (inch)
0	0.0	0.0	0.0	50	5.0	170.0	67.0
1	0.1	3.4	1.3	51	5.1	173.4	68.3
2	0.2	6.8	2.7	52	5.2	176.8	69.7
3	0.3	10.2	4.0	53	5.3	180.2	71.0
4	0.4	13.6	5.4	54	5.4	183.6	72.4
5	0.5	17.0	6.7	55	5.5	187.0	73.7
6	0.6	20.4	8.0	56	5.6	190.4	75.0
7	0.7	23.8	9.4	57	5.7	193.8	76.4
8	0.8	27.2	10.7	58	5.8	197.2	77.7
9	0.9	30.6	12.1	59	5.9	200.6	79.1
10	1.0	34.0	13.4	60	6.0	204.0	80.4
11	1.1	37.4	14.7	61	6.1	207.4	81.7
12	1.2	40.8	16.1	62	6.2	210.8	83.1
13	1.3	44.2	17.4	63	6.3	214.2	84.4
14	1.4	47.6	18.8	64	6.4	217.6	85.8
15	1.5	51.0	20.1	65	6.5	221.0	87.1
16	1.6	54.4	21.4	66	6.6	224.4	88.4
17	1.7	57.8	22.8	67	6.7	227.8	89.8
18	1.8	61.2	24.1	68	6.8	231.2	91.1
19	1.9	64.6	25.5	69	6.9	234.6	92.5
20	2.0	68.0	26.8	70	7.0	238.0	93.8
21	2.1	71.4	28.1	71	7.1	241.4	95.1
22	2.2	74.8	29.5	72	7.2	244.8	96.5
23	2.3	78.2	30.8	73	7.3	248.2	97.8
24	2.4	81.6	32.2	74	7.4	251.6	99.2
25	2.5	85.0	33.5	75	7.5	255.0	100.5
26	2.6	88.4	34.8	76	7.6	258.4	101.8
27	2.7	91.8	36.2	77	7.7	261.8	103.2
28	2.8	95.2	37.5	78	7.8	265.2	104.5
29	2.9	98.6	38.9	79	7.9	268.6	105.9
30	3.0	102.0	40.2	80	8.0	272.0	107.2
31	3.1	105.4	41.5	81	8.1	275.4	108.5
32	3.2	108.8	42.9	82	8.2	278.8	109.9
33	3.3	112.2	44.2	83	8.3	282.2	111.2
34	3.4	115.6	45.6	84	8.4	285.6	112.6
35	3.5	119.0	46.9	85	8.5	289.0	113.9
36	3.6	122.4	48.2	86	8.6	292.4	115.2
37	3.7	125.8	49.6	87	8.7	295.8	116.6
38	3.8	129.2	50.9	88	8.8	299.2	117.9
39	3.9	132.6	52.3	89	8.9	302.6	119.3
40	4.0	136.0	53.6	90	9.0	306.0	120.6
41	4.1	139.4	54.9	91	9.1	309.4	121.9
42	4.2	142.8	56.3	92	9.2	312.8	123.3
43	4.3	146.2	57.6	93	9.3	316.2	124.6
44	4.4	149.6	59.0	94	9.4	319.6	126.0
45	4.5	153.0	60.3	95	9.5	323.0	127.3
46	4.6	156.4	61.6	96	9.6	326.4	128.6
47	4.7	159.8	63.0	97	9.7	329.8	130.0
48	4.8	163.2	64.3	98	9.8	333.2	131.3
49	4.9	166.6	65.7	99	9.9	336.6	132.7

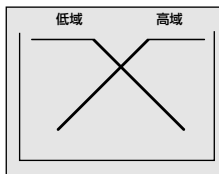
X-OVER について

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブ デバイディング ネットワークを搭載しています。そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

各バンドの HPF (ハイパスフィルター) LPF (ローパスフィルター) の調整、スロープ (フィルター特性の減衰の傾き)、レベルを設定します。

接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

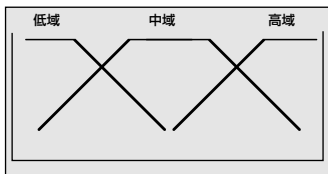
F/R/SUBW. モード	カットオフ周波数帯域 (1/3 オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
リアハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB
フロント ハイレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB



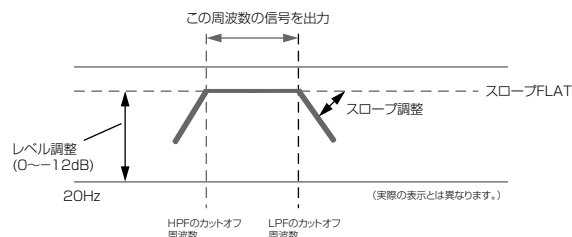
(実際の表示とは異なります。)

3WAY モード	カットオフ周波数帯域 (1/3 オクターブステップ)		スロープ調整		レベル調整幅
	HPF	LPF	HPF	LPF	
ローレンジ スピーカー	—	20Hz ~ 200Hz	—	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ミッドレンジ スピーカー	20Hz ~ 200Hz	20Hz ~ 20kHz	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	FLAT(OFF), 6, 12, 18, 24dB/oct.	0 ~ -12dB
ハイレンジ スピーカー	1kHz ~ 20kHz (20Hz ~ 20kHz)*	—	FLAT(OFF)*, 6, 12, 18, 24dB/oct.	—	0 ~ -12dB

※「ツイーター設定 (Tweeter)」(49 ページ) を User's に設定した場合のみ。



(実際の表示とは異なります。)



■ Memo

- HPF (ハイパスフィルター) はある周波数より下の音域 (低域) をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
- LPF (ローパスフィルター) はある周波数より上の音域 (高域) をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
- スロープとは周波数が 1 オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何 dB 減衰するかを表す値です。
- スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
- スロープを 0dB/oct (FLAT) にすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。ツイーターは低域信号入力によって、故障の原因になる危険性があります。
- 同じチャンネル内で HPF と LPF の周波数を重ねる調整は行わないでください。また、HPF と LPF の周波数を越える調整はできません。

X-OVER (クロスオーバーネットワーク) はなぜ必要か？

スピーカーは一つの振動板で可聴帯域すべてをフラットに再生することが理想です。しかし、耳で聞こえる音の周波数は 20Hz ~ 20kHz 位と言われ、一つのスピーカーでは、この幅広い周波数を再生することは困難です。そこでクロスオーバーを使用しスピーカーを各周波数帯域 (低域、中域、高域など) に別けて各スピーカーの能力に見合った再生周波数に分割します。クロスオーバーには低音域を再生するための「ローパスフィルター (LPF)」と高音域を再生するための「ハイパスフィルター (HPF)」があります。中域は、ローパスフィルターとハイパスフィルターを組み合わせ利用します。この LPF/HPF を利用することで信号に対して忠実な再生ができるようになります。

スピーカーについて

■ ハイレンジスピーカー

シンバルなど、主に高音域を出力するスピーカー。

■ ミッドレンジスピーカー

ボーカルの声 / メロディ音など、主に中音域を出力するスピーカー。ローレンジ (サブウーハー) が用意されない場合は、このミッドレンジが低音域まで再生することになります。

■ ローレンジスピーカー (サブウーハー)

ベースやドラムの音など、主に低音域を出力するスピーカー。人間の耳は 80Hz 以下の音に方向性を感じにくいいため、LPF の設定は 80Hz 以下にするのが一般的です。80Hz 以上の音がローレンジスピーカー (サブウーハー) からなってしまうと、前方定位が崩れてしまう場合があります。

スロープ調整について

- 例えば、HPFを調整した場合、その周波数より低い周波数をまったく再生しないわけではありません。スロープを設定することで、特定の周波数より低くなればなるほど、出力（音量）が低くなっていくという減衰特性を調整します。
- フィルターのスロープ特性は 6dB、12dB、18dB、24dB/oct を内蔵しており、スロープの数値が大きいほど、傾きが急となり隣の帯域からの音の混ざりもなく、狙った帯域だけを再生できますが、各スピーカー間のつながりが悪くなる場合や歪みが発生する場合がありますので、各スピーカー間の音を聴きながら調整してください。
- フルレンジスピーカーを使用している場合、スロープ設定は 0dB/oct (FLAT) にします。

調整のコツ

注意：接続しているスピーカーの推奨クロスオーバー周波数にあわせて調整してください。スピーカーの推奨クロスオーバーを必ず確認してください。推奨クロスオーバー範囲外の調整は、スピーカー破損の原因となります。弊社製品のクロスオーバー周波数推奨値については、スピーカーの説明書を参照してください。クロスオーバー推奨値以外のご使用により製品の破損／故障等が生じて、責任は負いかねますのでご注意ください。

■ 3WAY の場合

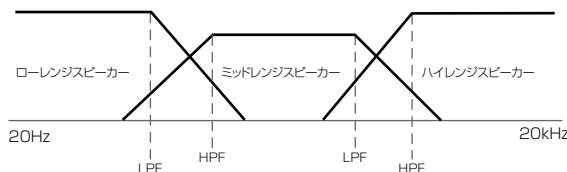
使用するスピーカーの再生可能な周波数特性にもよりますが、まずは、3 つに分割してみます。

例えば、

- ・ローレンジスピーカー：20Hz ～ 80Hz
- ・ミッドレンジスピーカー：80Hz ～ 4kHz
- ・ハイレレンジスピーカー：4kHz ～ 20kHz

とします。

このときの本機側の調整は、ローレンジスピーカーの LPF を 63Hz または 80Hz、ミッドレンジスピーカーの HPF を 80Hz または 100Hz、LPF を 2kHz ～ 4kHz、ハイレレンジスピーカーの HPF は 4kHz を目安とし、次にスロープを設定、そしてスピーカー全体の音のバランスを聴きながら出力レベルの調整を行います。後は、実際に試聴しながら、繰り返し周波数やスロープの調整などをお好みに合わせて行き最も最適な調整を探します。



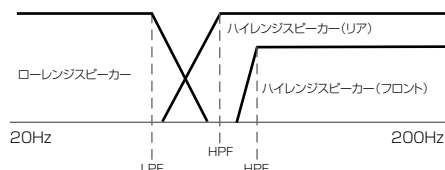
■ F/R/SUBW. の場合

F/R/SUBW. の場合は、2 つに分割してみます。

例えば、

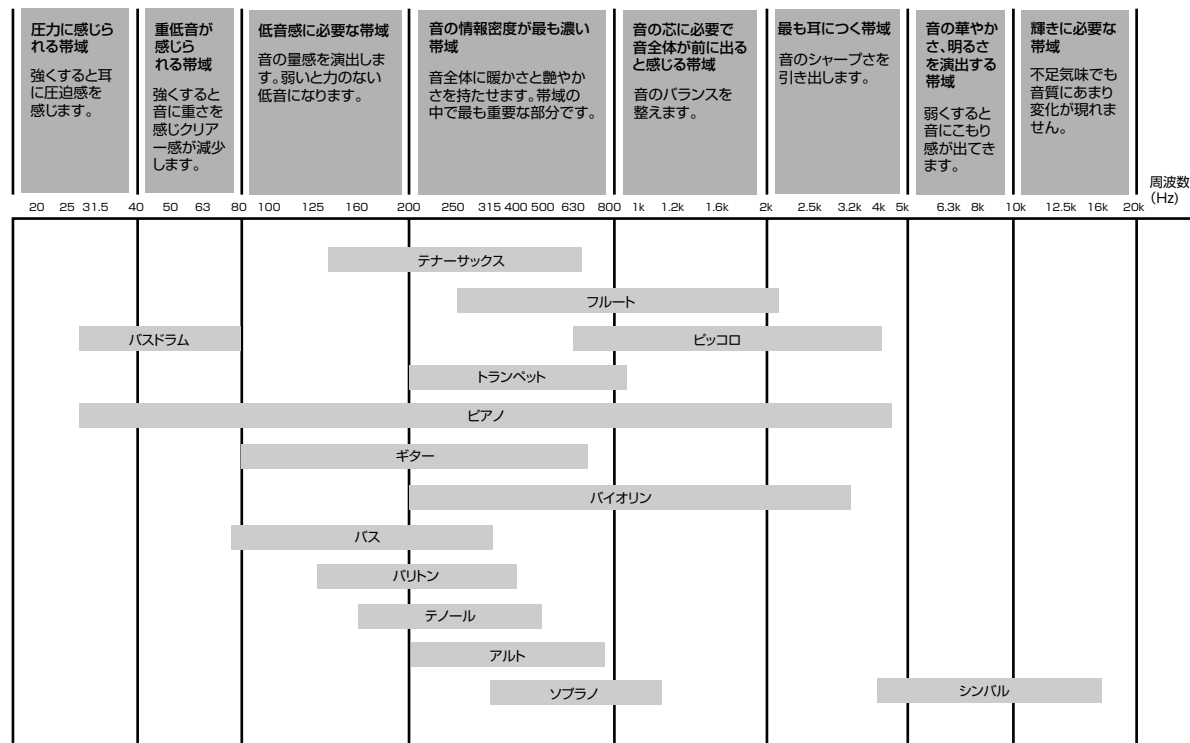
- ・ローレンジスピーカー：20Hz ～ 80Hz
- ・ハイレレンジスピーカー：80Hz 以上（フロント / リア）とします。

本機側の調整は、ローレンジスピーカーの LPF を 63Hz または 80Hz、ハイレレンジスピーカーの HPF はフロント / リアそれぞれ 80Hz または 100Hz を目安とし、左記 3WAY と同じようにスロープを設定、出力レベルの調整を行います。



周波数帯域と音質について

一般的に周波数には次のような音質の特徴があり、各帯域を強調／減衰することによりさまざまな音質が楽しめます。調整の際の参考にしてください。





取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～4ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

・ RCAコード、ピンコード

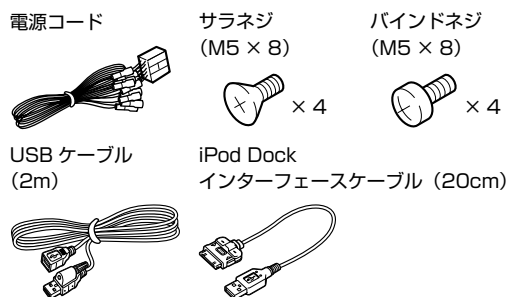
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

- 9) スピーカーの接続
 - 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
 - スピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものをお使いください。
- 10) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 11) 取り付け場所について

本機の操作の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 12) 水平に対して35度以内に取り付けてください。
- 13) 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。



3. バッテリーのマイナス端子を外す。
4. 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
5. 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
6. オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、4. 取り付けるの手順3で利用します。)

3. 接続する

- 56ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続することに✓点をつけてください。
- 本機に電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点があるかを確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

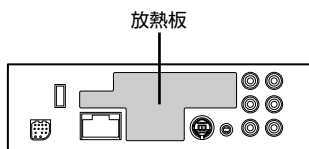
4. 取り付ける



注意

通風孔や放熱板をふさがない。

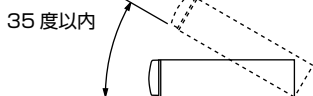
通風孔・放熱板をふさがないでください。
通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



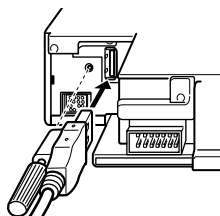
＜製品裏側＞

取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

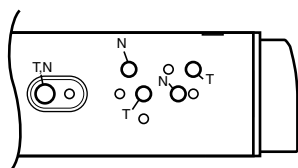
1. 本機操作の際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



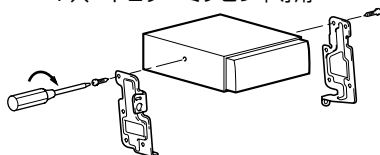
2. 本機に USB ケーブルを差し込み、ロックスクリューで固定する。



3. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。
取り付け用ネジ穴



N 穴→ニッサン車専用
T 穴→トヨタ・ミツビシ車専用



4. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
5. インパネを取り付ける。
6. コード類を固定する。

シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

7. バッテリーマイナス端子を接続する。

■ Memo

- 車両雑音から守るために
 - ・ アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - ・ 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ・ バッテリー電源コードと PIN コードは離す。
 - ・ ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

5. 確認する

1. イグニッションキーを ON にして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

■ Memo

IN-INT の接続について

IN-INT コードは次の組み合わせ時に使用します。

- 音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
- 別売の BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) と組み合わせる。
BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) の MUTE コードに接続します。
携帯電話の音声などを本機に割り込ませます。
詳しくは BLUETOOTH INTERFACE (KCE-400BT) の取扱説明書を参照してください。
- OUT-INT 対応の製品と組み合わせる
Ai 割り込み BOX (NVE-K200)、または Ai-RCA 変換ケーブル (KCA-121B) などと OUT-INT 対応の TV (TVE-T038 など) を組み合わせ使用するとき接続します。
TV の音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

スイッチ切りかえについて

取り付け前やシステムアップを行うとき、スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

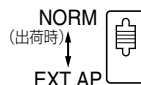
切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものをスイッチに対して垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

システムスイッチ

本機に IMPRINT オーディオプロセッサや、Ai-NET 対応のイコライザー、オーディオプロセッサ等を接続するときは、「EXT AP」側に切りかえます。

(本機の底面部)



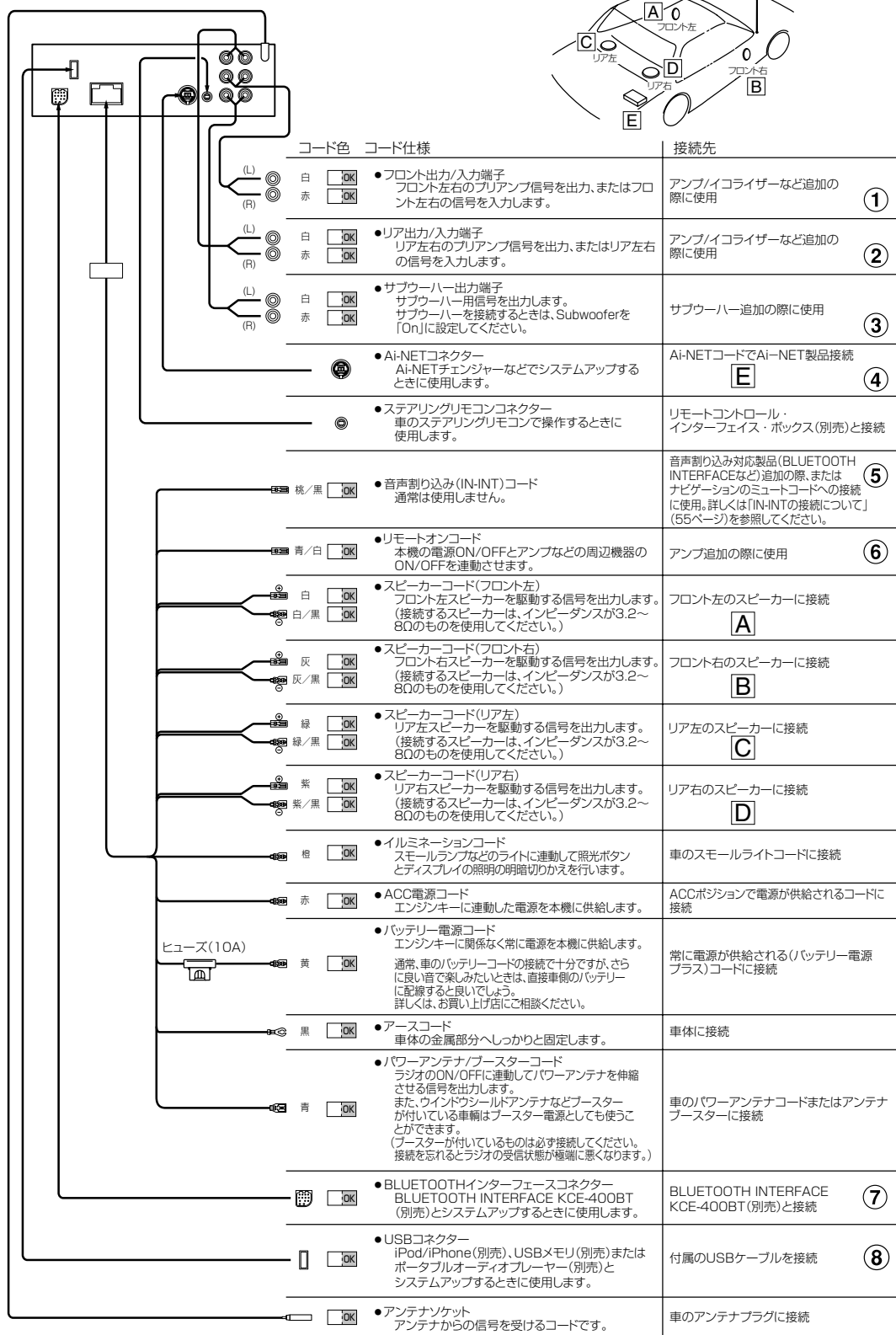
■ Memo

- チェンジャーのみを接続する (Ai-NET 対応イコライザーを使わない) 場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。



取り付けと接続

基本接続図



Memo

- 上記接続先の丸番号は、**6. システムアップの例**で使用します。
- DHA-S690 を接続する場合の注意: DHA-S690 側の「製品セットアップ」(MODEL SETUP) を「DVD CHG」に設定してください。

6. システムアップの例

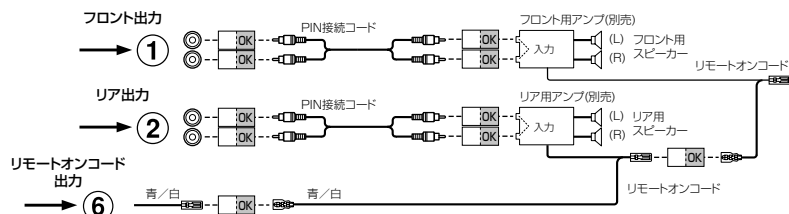
重要

- オーディオプロセッサー（PXA-H100、PKG-H701S など）と組み合わせる場合には、システムスイッチの切りかえが必要になります。
- 正しい切りかえを行わないと、爆音など、不具合が発生します。
- 詳しくは、「スイッチ切りかえについて」（55 ページ）を参照してください。



1) 外部アンプを接続する

システムスイッチ NORM

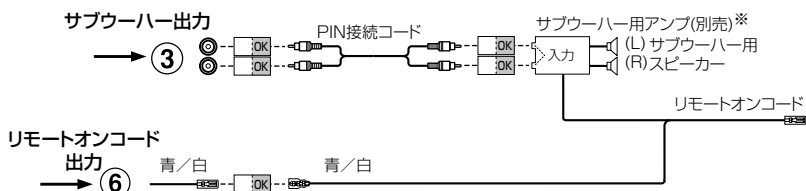


Memo

- ・外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプの接続（Power IC）」（36 ページ）を参照してください。

2) サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ NORM



※ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

Memo

- ・「サブウーハーを接続する」（31 ページ）を参照してください。

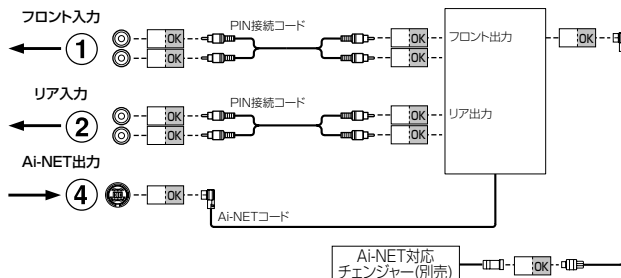
3) 「Ai-NET 対応イコライザー」 + 「チェンジャー」を接続する（内蔵アンプ使用時）

システムスイッチ EXT AP

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。

（トーンバイパス機能）**

** トーンバイパス機能とは：
ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。



Memo

- ・チェンジャーのみを接続する（Ai-NET 対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは NORM に設定してください。
- ・サブウーハー（別売）を接続する場合は Ai-NET 対応イコライザーに接続し、本機のサブウーハー出力端子には接続しないでください。

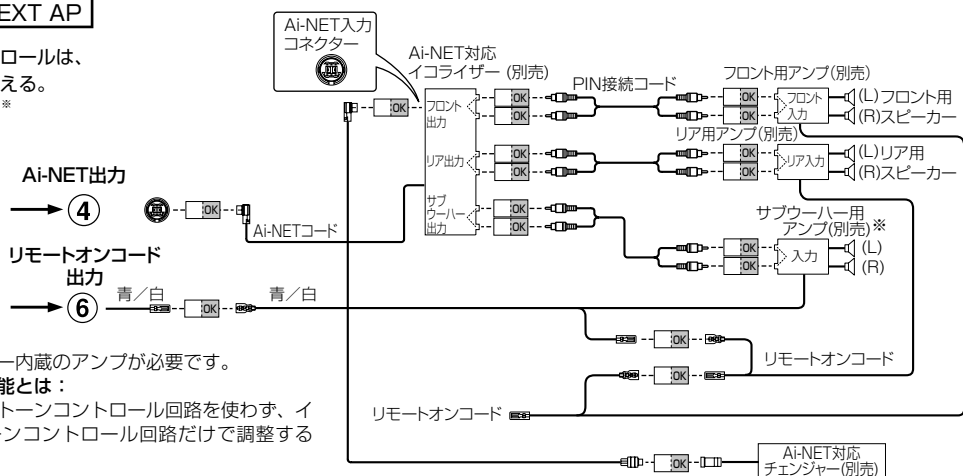


取り付けと接続

4)「Ai-NET 対応イコライザー」 + 「チェンジャー」を接続する（外部アンプ使用時）

システムスイッチ EXT AP

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。
(トーンバイパス機能) **



※ ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。

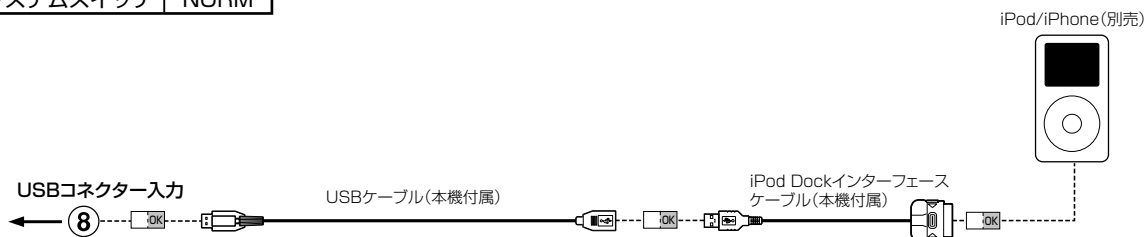
※ ※ トーンバイパス機能とは：
ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。

Memo

- チェンジャーのみを接続する（Ai-NET 対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

5)「iPod/iPhone」を接続する。

システムスイッチ NORM

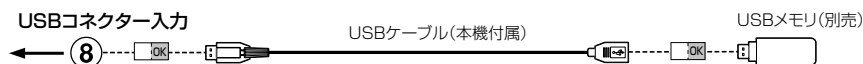


Memo

- 付属の USB ケーブルと iPod Dock インターフェースケーブルをご使用ください。
- 付属の USB ケーブル以外をご使用の場合、動作の保証は致しかねます。

6)「USB メモリ」を接続する

システムスイッチ NORM

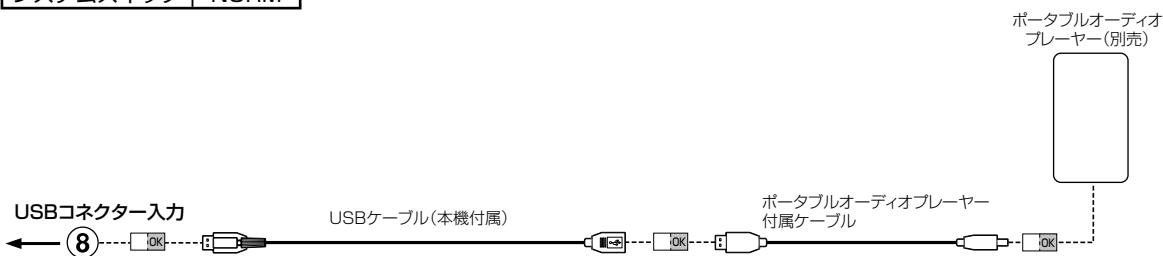


Memo

- 付属の USB ケーブルをご使用ください。
- 付属の USB ケーブル以外をご使用の場合、動作の保証は致しかねます。
- USB ケーブルは他のコード類から離して配線してください。

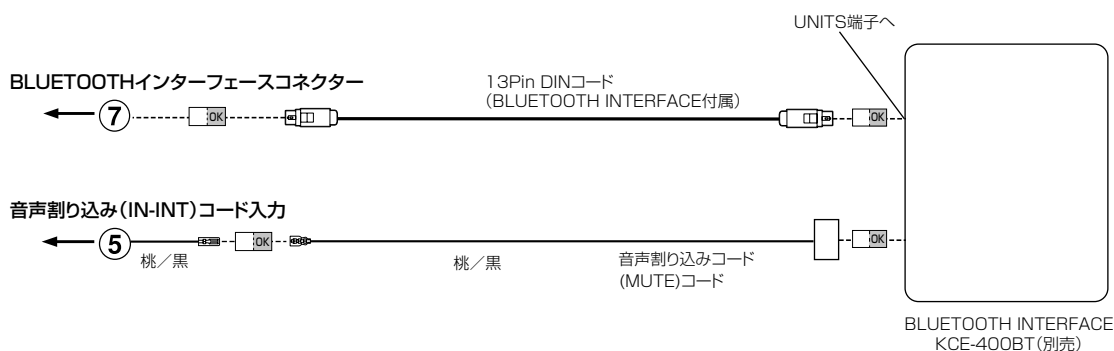
7) ポータブルオーディオプレーヤーを接続する

システムスイッチ NORM



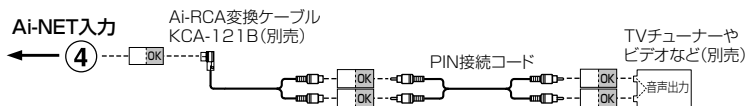
8) BLUETOOTH INTERFACE を接続する

システムスイッチ NORM



9) 外部入力にビデオなどを接続する

システムスイッチ NORM



Memo

- ・「外部入力の設定 (AUX IN)」(35 ページ) を参照してください。

お知らせ

- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー 2 台、テレビやビデオなど (外部入力) 2 台、計 4 台の製品を接続することができます。詳しくは KCA-410C の説明書を参照してください。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

→ 接続・配線は正しく行われていますか？

→ 下の表をもう一度ご確認ください。

→ それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口(63 ページ)にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源を OFF → ON してください。
それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行なってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
・ 規定容量のヒューズと交換する。(→ P56)
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。(→ P8)

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
・ 音量レベルを上げる。(→ P13)
- フェダーの設定が適切でない。
・ 2 スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。(→ P13)

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
・ もう一度記憶する。(→ P11、13)
- バッテリーコードの接続ミス
・ 接続を確認する。(→ P56)

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
・ しばらく待つ。

サブウーハーの音が出ない。

- サブウーハーの設定が OFF になっている。
・ サブウーハーの設定を ON にする。(→ P31、39、47)
- サブウーハー出力レベル調整を行っていない。
・ サブウーハー出力レベル調整を行う。(→ P13)

表示が勝手に切りかわる。

- デモンストレーション機能が ON になっている。
・ OFF に設定する。(→ P36)

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
・ アンテナを伸ばす。
・ パワーアンテナ / プースターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
・ 周波数を正しく合わせる。(→ P14)
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

FM は受信できるが、AM は受信できない。

- パワーアンテナ / プースターコードが正しく接続されていない。
・ 接続を確認する (→ P56)

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。(→ P14)

iPod/iPhone 部

iPod/iPhone が再生しない。／ iPod/iPhone の音が出ない。

- iPod/iPhone が認識されていない。
・ 本機と iPod/iPhone をリセットする。(→ P8)
iPod/iPhone のリセットについては、iPod/iPhone ユーザーズガイドを参照してください。

メッセージが表示されたら… (iPod/iPhone 部)

Current Error	● USB 端子接続機器に異常な電流が流れている (本機動作対象外の USB 機器を接続すると表示される可能性があります)。 ・ 別の iPod/iPhone を接続してみる。
USB Device Error	● 本機対象外の iPod/iPhone が接続されている。 ・ 本機対象の iPod/iPhone を接続する。 ・ iPod/iPhone をリセットしてみる。
No USB Device	● iPod/iPhone が接続されていない。 ・ iPod/iPhone が正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
No Song	● iPod/iPhone に曲 (ファイル) が入っていない。 ・ iPod/iPhone に曲 (ファイル) を転送してから接続する。
No Support	● 本機で対応していない文字情報が入力されている。 ・ 本機で対応している文字情報が入力された iPod/iPhone を使用する。
Error 01	● 通信エラー。 ・ 一度イグニッションキーを「OFF」にしてから、もう一度「ACC」または「ON」にする。 ・ iPod/iPhone と iPod Dock インターフェースケーブル、USB ケーブルを接続しなおして表示を確認する。 ・ iPod/iPhone をリセットする。
Error 02	● 本機で対応していない iPod/iPhone ソフトウェアバージョンである。 ・ 本機対応の iPod/iPhone ソフトウェアバージョンにアップデートする。
Error 03	● iPod/iPhone が認証されていない。 ・ iPod/iPhone をリセットする。 ・ 別の iPod/iPhone を接続してみる。

メッセージが表れたら… (USB メモリ部)

Current Error	● USB 端子接続機器に異常な電流が流れている (本機動作対象外の USB 機器を接続すると表示される可能性があります)。 ● USB メモリが故障している／ショート状態にある ・ 別の USB メモリを接続してみる。
USB Device Error	● 本機対象外の USB 製品が接続されている。 ・ 本機対象の USB メモリを接続する。
No USB Device	● USB メモリが接続されていない。 ・ USB メモリが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
No Song	● USB メモリに曲 (ファイル) が入っていない。 ・ USB メモリに曲 (ファイル) を書き込んでから接続する。
Unsupported	● 本機指定の MP3/WMA/AAC フォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。
Protect	● コピープロテクト (著作権保護) されている WMA ファイルを演奏した。 ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。
No Support	● 本機で対応していない文字情報が入力されている。 ・ 本機で対応している文字情報が入力された USB メモリを使用する。

メッセージが表れたら… (ポータブルオーディオプレーヤー部)

Current Error	● USB 端子接続機器に異常な電流が流れている (本機動作対象外の USB 機器を接続すると表示される可能性があります)。 ・ 別のポータブルオーディオプレーヤーを接続してみる。
USB Device Error	● 本機対象外のポータブルオーディオプレーヤーが接続されている。 ・ 別のポータブルオーディオプレーヤーを接続してみる。
No USB Device	● ポータブルオーディオプレーヤーが接続されていない。 ・ ポータブルオーディオプレーヤーが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。
No Song	● ポータブルオーディオプレーヤーに曲 (ファイル) が入っていない。 ・ ポータブルオーディオプレーヤーに曲 (ファイル) を転送してから接続する。
No Support	● 本機で対応していない文字情報が入力されている。 ・ 本機で対応している文字情報が入力されたポータブルオーディオプレーヤーを使用する。
Unsupported	● 本機指定の MP3/WMA フォーマットで書き込みされていない。 ・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。
Protect	● コピープロテクト (著作権保護) されている WMA ファイルを演奏した。 ・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。 ・ ポータブルオーディオプレーヤーが MTP 設定になっていることを確認する。
Error 01	● 通信エラー。 ・ 一度イグニッションキーを「OFF」にしてから、もう一度「ACC」または「ON」にする。 ・ ポータブルオーディオプレーヤーと接続ケーブルを接続しなおして表示を確認する。
Error 02	● 本機で対応していないソフトウェアバージョンである。 ・ ポータブルオーディオプレーヤーのソフトウェアをアップデートしてみる。詳しくはプレーヤーの取扱説明書を参照してください。 ・ ポータブルオーディオプレーヤーをリセットする。

メッセージが表れたら… (チェンジャー部)

No Magazine	● マガジンが CD チェンジャーにセットされていない。 ・ マガジンを CD チェンジャーにセットする。
No Disc	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。
High Temperature	● 車内温度が高すぎる。 ・ 車内温度を常温まで下げる。
Error 01	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ① 「▲」を押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。 ● メカニズムエラー。 ① 「▲」を押す。 ② 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③ それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。
Error 02	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ① 「▲」を押す。 ② 空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。

規格

チューナー部

受信周波数	AM : 522 ~ 1629kHz FM : 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM : 22.5 μ V FM : 0.8 μ V (75 Ω) :9.3dBf (新 IHF)
ステレオセパレーション	FM : 35dB 以上
SN 比	FM : 65dB 以上
イメージ妨害比	FM : 80dB 以上
IF 妨害比	FM : 80dB 以上

USB 部

USB 規格	USB 1.1 / 2.0
最大供給電流	500mA
ファイルシステム	FAT 12/16/32
MP3 デコード	MPEG-1/2 AUDIO Layer-3 準拠
WMA デコード	Windows Media™ Audio 準拠 (WMDRM10 に対応)
AAC デコード	AAC-LC 形式 “.m4a” ファイル
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性 ^{*1}	5Hz ~ 20kHz (± 1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
SN 比	105dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz) 以上

^{*1} 周波数特性はエンコードソフト/ビットレートにより異なる場合があります。

表示部

画面サイズ	2.2 インチ
表示方式	透過型 TN 液晶
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	230,400 個 (有効画素数 : 99.99% 以上)
照明方式	LED バックライト

一般

使用電源	DC1.4V (動作範囲 : 1.1 ~ 1.6V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	50W × 4
音声出力レベル	プリアウト : 2V / 10K Ω (最大) (フロント/リア/サブウーハー)
外形寸法	178 (幅) × 50 (高さ) × 156 (奥行) mm
重量	1.0 kg

Windows Media および Windows は、米国及びその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

iPod は米国及びその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

「Works with iPhone」とは、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

Audyssey MultEQ XT は Audyssey Laboratories Inc. の登録商標です。

BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルパイン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson から実施許諾されています。

本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要でず。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> にアクセスしてください。

Uni-Type™ は、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。

Uni-Type™ は、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または 63 ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
- **アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または 63 ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。**
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(一部回線でつながらない場合があります。)
＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL：048-662-6636



- 電話受付時間 9:30～12:00 13:00～17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

MP3/WMA/AAC について

注意 : 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ (MP3/WMA/AAC データ含む) を著作権者に無断で複製し、有料・無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3 とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体の ISO と IEC の共同活動機関である MPEG が定めた圧縮規格です。

MP3 は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。

また、CD クオリティに近い音質を実現しても約 1/10 の圧縮率を得ることができます。

(サンプリング周波数 44.1kHz、ビットレート 128kbps の場合)

このような高圧縮率を実現している MP3 フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMA とは？

WMA または「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。

WMA は MP3 オーディオデータと同様に小さいファイルサイズで CD 同等の音質を実現しています。

AAC とは？

AAC とは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。

MP3/WMA/AAC へ圧縮する方法

MP3/WMA/AAC 専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。

WMA は Windows Media Audio Professional 形式、Windows Media Audio 9 Voice 形式、Windows Media Audio 9 Pro Lossless 形式には対応していません。

また、本機で再生可能な MP3/WMA/AAC ファイルの拡張子は「mp3」/「wma」/「m4a」です。(WMA は Ver.7.1、8、9、9.1、9.2 に対応)

■ 注意

・AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、Ver. 7.7 までの iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3 : 8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

WMA : 16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

AAC : 44.1kHz、48kHz

ビットレート

MP3 : 16kbps ~ 320kbps、WMA: 16kbps ~ 320kbps

AAC : 16kbps ~ 320kbps

ただし、サンプリングレートとビットレートの組み合わせによっては正常に再生されない場合があります。

上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3 タグ / WMA タグについて

ID3 タグは、ID3 Tag v1、v2.2.0、v2.3.0 に対応しています。圧縮化、暗号化、グループ化、非同期化はサポートしていません。

MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル (曲名)、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

対応文字以外の場合、「No Support」が表示されます。

MP3/WMA/AAC を再生するには

MP3/WMA/AAC ファイルを用意し、USB メモリに書き込みます。または MP3/WMA ファイルを Windows Media Player Ver.10、11 で同期してポータブルオーディオプレーヤーに転送します。

ファイル/フォルダ数 (ルートフォルダを含めて) は、最大フォルダ数は 1,000 個、最大ファイル数は 10,000 個です。

上記の制限以外で書き込まれた USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーは、再生できない場合があります。

対応メディア

再生できるメディアは、USB メモリ / ポータブルオーディオプレーヤーです。

対応ファイルシステム

FAT 12/16/32 に対応しています。

用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを 1 秒間に何回サンプリング (記録) するかを示す値のことで、たとえば、音楽 CD は 44.1kHz で、1 秒間にデータを 4 万 4100 回サンプリング (記録) していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽 CD や WAVE ファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMA/AAC ファイルに書き込まれた楽曲情報。

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれています。

索引

五十音順

あ 行

アートワーク表示.....	12、16
アルファベットのスキップ	20
イコライザーモード.....	42
オーディオ調整値の記憶	38
オーディオ調整値の呼び出し	39
お問い合わせ窓口.....	63
音量調整	13

か 行

外部アンプの接続.....	36
外部入力音声レベルの調整	35
外部入力の設定.....	35
外部割り込み時のデフォルト設定.....	34
外部割り込みモードの設定	34
各部の名称	7
壁紙のカラー設定.....	37
壁紙の設定	37
壁紙のダウンロード.....	37
カレンダー表示パターンの設定	34
カレンダーを調整する	11
規格.....	62
基本接続図	56
グラフィック EQ.....	44
クロスオーバー.....	45
言語の設定	36
故障かな?と思ったら	60

さ 行

サウンド調整項目 (IMPRINT).....	41
サーチポジションメモリー	21
サーチモード	19
サブウーハー出力の位相設定	47
サブウーハー出力の設定	47
サブウーハー接続.....	31
サブウーハー接続 (IMPRINT).....	47
サブウーハー接続 (外部オーディオプロセッサー)...	39
サブウーハー調整.....	13
サブウーハーの設定.....	39
サブウーハーの設定 (IMPRINT).....	47
時間補正	45、49

時刻表示の設定.....	34
システムアップの例.....	57
システムスイッチ.....	55
シャッフル	17
シャッフル・アルバム.....	17
シャッフル・ソング.....	17
シャッフル All	17
3WAY システム	45
照光ボタンの色設定.....	36
設定項目一覧	33
セットアップ	32
操作音	34

た 行

タイムコレクション	45、49
タイムコレクション調整単位	47
ダイレクト UP/DOWN	21
ダブルアクションエンコーダー	8
チェンジャーの名称設定	35
ツイーター設定.....	47
ディスク	23
ディスタンスモード.....	14
ディスプレイの明るさ調整	37
ディスプレイの明るさレベル	37
デフォルト設定.....	13
テキストスクロール設定.....	37
デモンストレーション	36
電源の ON/OFF.....	9
道路交通情報	15
時計を調整する.....	11
時計を表示する.....	12
トラック No. サーチ	25
トラフィックインフォメーション.....	15
取り扱い上のご注意.....	3
取り付けと接続.....	54
トレブル (高音) 調整.....	13
トレブルセンター周波数	29

は 行

パーセントスキップ	20
バスセンター周波数.....	28
バス帯域幅	28
バス (低音) 調整.....	13
パラメトリック EQ.....	43
バランス調整	13

バンドを切りかえる.....	14
ファイルサーチ.....	26、27
フィルタータイプ.....	47
フェダー調整.....	13
フォルダサーチ.....	26、27
プリセット.....	14、15
ページスキップ.....	20
保証書について.....	62
ポータブルオーディオプレーヤーについてのご注意...	4
ポータブルオーディオプレーヤーの接続.....	10
ボタン名称.....	7

ま 行

マニュアルモード (IMPRINT).....	40
マニュアルモード (ラジオ).....	14
ミックス.....	24

や 行

用語説明.....	64
-----------	----

ら 行

ラウドネス設定.....	13
リセット.....	8
リピート.....	18、25
ローカルモード.....	14

アルファベット

A to Z

Albums.....	19
Artists.....	19
Audiobooks.....	19
Audio Setup.....	38
Auto Memory.....	15
AUX+.....	35
AUX+ IN GAIN.....	35
AUX IN.....	35
Balance.....	13
Bass Adjustment.....	28
Bass Level.....	13
Beep.....	34
BGV Color.....	37
BGV Download.....	37
BGV Select.....	37

BLUETOOTH.....	33
Calendar Type.....	34
CHG Name.....	35
Clock Adjust.....	11
Clock Mode.....	34
Composers.....	19
Defeat.....	13
Demo.....	36
Dimmer.....	37
Dimmer Level.....	37
Display.....	36
DX.....	14
EQ Adjustment.....	43、44
EQ Mode.....	42
EXT AP.....	55
Factory's EQ.....	42
Fader.....	13
Fc.....	46
F/R/SUBW. システム.....	45
Filter Type.....	47
Function.....	17、18、24、25
Fo.....	28
Fo (IMPRINT).....	43、44
Gain.....	43、44
General.....	34
Genres.....	19
G-EQ.....	44
Graphic.....	42、44
High Pass Filter Adjustment.....	30
HPF.....	30
Illumination.....	36
IMPRINT.....	40
IN-INT の接続について.....	55
Int Audio.....	34
Int Mute.....	34
iPod/iPhone についてのご注意.....	4
iPod/iPhone サーチモード.....	38
iPod/iPhone の接続.....	9
Language.....	36
Level.....	46
Local.....	14
Loudness.....	13
M.I.X.....	24
M.I.X. All.....	24
M.I.X. Folder.....	24
M.I.X. One.....	24
Manual.....	14
Media Xpander (IMPRINT).....	42
Media Xpander (外部オーディオプロセッサ)...	39

Menu Select	17、19
MP3/WMA/AAC について.....	64
MP3/WMA/AAC のご注意 (USB メモリ).....	4
MP3/WMA のご注意 (ポータブルオーディオプレーヤー)....	4
MP3 再生データ設定	34
MultEQ.....	40
MX Level Adjustment (IMPRINT).....	42
MX Level Adjustment (外部オーディオプロセッサー)....	39
MX (IMPRINT)	42
MX (外部オーディオプロセッサー)	39
NORM.....	55
Parametric.....	42、43
P-EQ.....	43
Playlists	19
Play Mode.....	34
Podcasts	19
Power IC.....	36
Preset.....	14、15
Q	28
Q (IMPRINT)	43
REPEAT	18、25
Repeat Disc.....	25
Repeat Folder.....	25
Repeat One.....	25
Repeat Song	18
SETUP	32
Shuffle	17
Shuffle Album	17
Shuffle All.....	17
Shuffle Song	17
Slope	46
Songs.....	19
Sound Field Adjustment.....	43、44、45
Subwoofer	31
Subwoofer (IMPRINT)	47
Subwoofer (外部オーディオプロセッサー)	39
Subwoofer Channel	47
Subwoofer Phase	47
Subwoofer System.....	39
Subwoofer System (IMPRINT)	47
Text Scroll	37
Time Correction.....	45
Time Correction Parameter.....	47
Treble Adjustment.....	29
Treble Level	13
TRF.....	15
Tweeter	47
User Preset	38、39
User Preset (IMPRINT)	48

USB 端子についてのご注意.....	3
USB メモリについてのご注意	4
USB メモリの接続	10
Volume.....	13
X-Over	45、51
X-OVER 切りかえスイッチ	46、47

[illegible]

[illegible]

[illegible]

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

充実したサポートとサービスのためには是非お客様登録をお願いします。

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供を頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

● インフォメーションセンター

＜一般回線ご利用のお客様用＞

TEL：0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

（一部回線でつながらない場合があります。）

＜携帯電話、IP 電話、光電話等ご利用のお客様用＞

TEL：048-662-6636

● 電話受付時間 9：30～12：00 13：00～17：30（土日、祝日、弊社休業日を除く）

● 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。

FAX：048-662-6676

● アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

FAQ（よくあるご質問） <http://faq.alpine.co.jp>

アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China (Y-713)

68-13530Z59-A